

# 県営住宅外江団地第一期エコ改善工事 (58棟) (機械設備)

図面リスト		
図面番号	図面名称	縮尺
M-01	表紙、図面リスト	NS
M-02	機械設備工事特記仕様書(1)	NS
M-03	機械設備工事特記仕様書(2)	NS
M-04	配置図、付近見取図、工事概要、屋外配管(改修後)	1/30, 1/200
M-05	衛生設備 改修後 衛生器具表・機器表	NS
M-06	衛生設備 改修後 樹リスト、特記事項	1/20
M-07	衛生設備 改修後 配管系統図	NS
M-08	衛生設備 改修後 1階・屋外平面図	1/100
M-09	衛生設備 改修後 2～4階平面図	1/100
M-10	衛生設備 改修後 1階平面詳細図	1/50
M-11	衛生設備 改修後 2～4階平面詳細図	1/50
M-12	衛生設備 改修後 PS・給湯器廻り詳細図(参考図)	1/30, 1/50
M-13	換気設備 改修後 機器表、1階平面図	1/100
M-14	換気設備 改修後 2～4階平面図	1/100
M-15	衛生設備 撤去 配置図	1/200
M-16	衛生設備 撤去 配管系統図	NS
M-17	衛生設備 撤去 1階・屋外平面図	1/100
M-18	衛生設備 撤去 2～4階平面図	1/100
M-19	衛生・換気設備 撤去 1階平面詳細図	1/50
M-20	衛生・換気設備 撤去 2～4階平面詳細図	1/50
M-21	仮設計画配置図、概略工程表 建築図抜粋	1/200





<p>一般共通事項</p> <p>21 鋼管類の防食処置</p> <p>22 絶縁継手</p> <p>23 防振継手</p> <p>24 伸縮管継手</p> <p>㉔ 塗装</p> <p>26 ステンレス鋼管の接合方法</p> <p>27 溶接配管の検査</p> <p>㉕ 埋設表示</p> <p>㉖ 支持金物・固定金具</p> <p>㉗ 総合試運転調整</p> <p>㉘ アスベスト含有建材の処理 ※分析調査結果による</p> <p>㉙ 補修など</p> <p>㉚ はつり</p> <p>㉛ はつり工事における非破壊検査</p> <p>35 室内空気中の化学物質の濃度測定</p> <p>㉜ 火災保険等</p> <p>37 グリーン購入</p> <p>38 鳥取県公共工事環境配慮指針</p> <p>39 建築物省エネ法</p> <p>40 耐震施工</p>	<p>地中埋設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ベトロラタム系</li> <li>● プレブルゴム系</li> <li>● 熱収縮チューブ及びシート</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 標準図 (施工3)</li> <li>● (1)絶縁フラランジ</li> <li>● (2)絶縁シート</li> <li>● (3)絶縁スリーブ</li> <li>● (4)絶縁ユニオン</li> </ul> <p>※ 合成ゴム製 (球形)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ポリテトラフルオロエチレン製</li> <li>● ベローズ形 (ステンレス製)</li> </ul> <p>※ ベローズ形</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スリーブ形</li> </ul> <p>各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)</p> <p>(ア)埋設されるもの (ただし、防食塗装部分を除く) (イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠べいされる部分 (エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等をしたもので、常時隠べいされる部分 (カ)カラー垂鉛鉄板面</p> <p>(キ)アルミ、ステンレス、銅、熔融アルミニウム-垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面</p> <p>(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理をした面</p> <p>(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管</p> <p>㊦ 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所 (保温を行わない露出鋼管外面 (給湯器カバー内共) )</p> <p>呼び径 60 S u 以下の継手は、S A S 3 2 2 を満足するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ガス配管</li> <li>● 冷温水配管</li> <li>● 冷却水配管</li> </ul> <p>非破壊検査の適用 ( ● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 )</p> <p>抜 取 率 ( ● 標準仕様書による ● % )</p> <p>㊧ 地中埋設目標を明示する箇所に設ける。</p> <p>㊨ 埋設表示用テープを埋設する。( ● ガス管 ● 屋外給水管 ● )</p> <p>ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットは S U S 3 0 4 製とする。</p> <p>屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または熔融垂鉛めっき仕上げとする。</p> <p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 温度</li> <li>● 湿度</li> <li>● 風量</li> <li>● 騒音</li> <li>● 水量</li> <li>● 浄化槽放流水質</li> </ul> <p>( ● 風速 ● じんあい ● 飲料水水质 ( ● 一般飲料水濁ろ検査 ● 残留塩素測定 ) )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● その他水質等 ( ● 雑用水 ● 空調用流体 ● )</li> </ul> <p>公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td>配管フランジパッキン</td> <td></td> <td>M-15 特記事項参照</td> </tr> </table> <p>※ 県有施設の石綿除去に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 施工調査 (分析によるアスベスト含有建材の調査) を行う。</li> </ul> <p>分析方法は J I S A 1 4 8 1 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アスベスト粉じん濃度測定を行う。</li> </ul> <p>(測定時期： 測定場所： 測定点： )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 洗浄設備 (洗眼、うがいの設備) 及び更衣設備等を設ける。</li> <li>● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。</li> </ul> <p>対象箇所 ( )</p> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。</p> <p>既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>探査方法 ※電磁誘導式 ●放射線透過検査</p> <p>実施する。</p> <p>工事的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。</p> <p>(保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)</p> <p>グリーン購入は次のものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空調用機器 ( ) ● 衛生器具 ( )</li> <li>● 断熱材 ( ) ● 配管材 ( ● 再生硬質ポリ塩化ビニル管 )</li> <li>● その他 ( )</li> </ul> <p>対象工事</p> <p>対象工事</p> <p>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量 1 k N 以下の一般機器については、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。</p> <p>(1) 機器の据付け及び取付け</p> <p>設計用水平地震力は、機器の重量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) [ k N ] に、地域係数と次に示す設計用標準水平地震度を乗じたものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>設計用標準水平地震度</th> <th>● 特定の施設</th> <th>● 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>設置場所</th> <th>● 重要機器</th> <th>● 重要機器</th> </tr> <tr> <th>上 層 階</th> <td>機 器 2. 0 1. 5 1. 5 1. 0</td> <td>機 器 2. 0 2. 0 2. 0 1. 5</td> </tr> <tr> <th>屋上、塔屋</th> <td>水 槽 類 2. 0 1. 5 1. 5 1. 0</td> <td>機 器 1. 5 1. 0 1. 0 0. 6</td> </tr> <tr> <th>中 間 階</th> <td>防振設置機器 1. 5 1. 5 1. 5 1. 0</td> <td>水 槽 類 1. 5 1. 0 1. 0 0. 6</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">地階・1階</th> <td>機 器 1. 0 0. 6 0. 6 0. 4</td> <td>防振設置機器 1. 0 1. 0 1. 0 0. 6</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類 1. 5 1. 0 1. 0 0. 6</td> <td>水 槽 類 1. 5 1. 0 1. 0 0. 6</td> </tr> </table> <p>上層階の定義 2～6階建：最上層、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階建以上：上層4階</p> <p>中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</p> <p>重要機器 ●換気機器 ●空調機器 ●熱源機器 ●防炎機器 ●監視制御設備 ●危険物貯蔵装置 ●火を使用する設備 ●避難経路上に設置する機器 ●水槽類 (燃料小出槽を含む) ● ( )</p> <p>(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の 1/2 とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センターを参考にする。</p>	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲	配管フランジパッキン		M-15 特記事項参照	設計用標準水平地震度	● 特定の施設	● 一般の施設	設置場所	● 重要機器	● 重要機器	上 層 階	機 器 2. 0 1. 5 1. 5 1. 0	機 器 2. 0 2. 0 2. 0 1. 5	屋上、塔屋	水 槽 類 2. 0 1. 5 1. 5 1. 0	機 器 1. 5 1. 0 1. 0 0. 6	中 間 階	防振設置機器 1. 5 1. 5 1. 5 1. 0	水 槽 類 1. 5 1. 0 1. 0 0. 6	地階・1階	機 器 1. 0 0. 6 0. 6 0. 4	防振設置機器 1. 0 1. 0 1. 0 0. 6	水 槽 類 1. 5 1. 0 1. 0 0. 6	水 槽 類 1. 5 1. 0 1. 0 0. 6	<p>1 空気調和設備</p> <p>2 冷暖房設備</p> <p>3 換気設備</p> <p>4 排煙設備</p> <p>5 自動制御設備</p>	<p>1 設計用温度湿度条件</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">外気条件</th> <th colspan="4">室内 (調整目標値)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一 般</th> <th colspan="2">( )</th> <th colspan="2">一 般</th> <th colspan="2">( )</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> </tr> <tr> <th>( DB )</th> <th>( RH )</th> <th>( DB )</th> <th>( RH )</th> <th>( DB )</th> <th>( RH )</th> <th>( DB )</th> <th>( RH )</th> </tr> <tr> <th>夏 季</th> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <th>冬 季</th> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>※ S G P (白) ● S G P-V A ● S G P-P A</p> <p>※ S G P (白) ● S G P-H V A ● ステンレス鋼管 (SUS304)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 架橋ポリエチレン管 (ファンコイル機器接続部に限る) ● ポリブテン管 (ファンコイル機器接続部に限る)</li> </ul> <p>※ S G P (白) ● ステンレス鋼管 (SUS304)</p> <p>※ S G P (黒)</p> <p>※ S T P G 3 7 0-S c h 4 0 (黒) ● ステンレス鋼管 (SUS304)</p> <p>一般配管 ※ S G P (黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>㊩ 冷媒管</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ステンレス鋼管 ● S G P-V A ●</li> </ul> <p>※ S G P (白) ● V P ● ㊪ ドレンホース</p> <p>※ 5 K ● 1 0 K</p> <p>12 ファンコイルユニット</p> <p>13 ダンパー</p> <p>㊫ ダクト</p> <p>15 吹出口・吸込口</p> <p>16 チャンパー等</p> <p>17 消音内貼り</p> <p>18 瞬間流量計及び流量測定口</p> <p>19 定風量・変風量ユニット</p> <p>20 温度計</p> <p>21 冷温水管の空気抜き</p> <p>22 空調機用トラップ</p> <p>23 鋼板製煙道</p> <p>24 オイルサーピスタック</p> <p>25 地下オイルタンク</p> <p>26 油面制御装置</p> <p>27 フィルター等付属品</p> <p>28 パッケージ空調機の能力表示</p> <p>29 防振吊り及び支持金物</p> <p>4 1 ダクト</p> <p>2 排煙口</p> <p>3 排煙口開放及び復帰方式</p> <p>4 排煙風量測定</p> <p>5 1 中央監視制御装置</p> <p>2 電源装置</p> <p>3 温度調節器等</p> <p>4 計装工事の配線</p>		外気条件				室内 (調整目標値)				一 般		( )		一 般		( )		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	( DB )	( RH )	( DB )	( RH )	( DB )	( RH )	( DB )	( RH )	夏 季		℃	%		℃	%		℃	%	冬 季		℃	%		℃	%		℃	%	<table border="1"> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">外気条件</th> <th colspan="4">室内 (調整目標値)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一 般</th> <th colspan="2">( )</th> <th colspan="2">一 般</th> <th colspan="2">( )</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> </tr> <tr> <th>( DB )</th> <th>( RH )</th> <th>( DB )</th> <th>( RH )</th> <th>( DB )</th> <th>( RH )</th> <th>( DB )</th> <th>( RH )</th> </tr> <tr> <th>夏 季</th> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <th>冬 季</th> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>※ S G P (白) ● S G P-V A ● S G P-P A</p> <p>※ S G P (白) ● S G P-H V A ● ステンレス鋼管 (SUS304)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 架橋ポリエチレン管 (ファンコイル機器接続部に限る) ● ポリブテン管 (ファンコイル機器接続部に限る)</li> </ul> <p>※ S G P (白) ● ステンレス鋼管 (SUS304)</p> <p>※ S G P (黒)</p> <p>※ S T P G 3 7 0-S c h 4 0 (黒) ● ステンレス鋼管 (SUS304)</p> <p>一般配管 ※ S G P (黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>㊩ 冷媒管</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ステンレス鋼管 ● S G P-V A ●</li> </ul> <p>※ S G P (白) ● V P ● ㊪ ドレンホース</p> <p>※ 5 K ● 1 0 K</p> <p>12 ファンコイルユニット</p> <p>13 ダンパー</p> <p>㊫ ダクト</p> <p>15 吹出口・吸込口</p> <p>16 チャンパー等</p> <p>17 消音内貼り</p> <p>18 瞬間流量計及び流量測定口</p> <p>19 定風量・変風量ユニット</p> <p>20 温度計</p> <p>21 冷温水管の空気抜き</p> <p>22 空調機用トラップ</p> <p>23 鋼板製煙道</p> <p>24 オイルサーピスタック</p> <p>25 地下オイルタンク</p> <p>26 油面制御装置</p> <p>27 フィルター等付属品</p> <p>28 パッケージ空調機の能力表示</p> <p>29 防振吊り及び支持金物</p> <p>※ 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後 150mm を 1.6mm 厚鋼板製とする。</p> <p>ボックス ※ 垂鉛鉄板製 ● グラスウール製</p> <p>シーリングディフューザーの接続は、標準図 (施工 49) を参考とする。</p> <p>接続するダクトの施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。</p> <p>線状吹出口には、(長さ+100) × 300 × 300H の接続チャンパーを設ける。</p> <p>外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。</p> <p>吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。</p> <p>内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。</p> <p>吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口 (原則 400 × 600) を取付ける。</p> <p>形式はビード管式 (コック付) とする。 ● 着脱式 ● 固定式</p> <p>下記の箇所、若しくは図示により取付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● 冷温水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● ユニット形空調調機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● メカニカル形 ● 風速センサー形</li> </ul> <p>機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計</p> <p>空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。</p> <p>※ 手動 ● 自動</p> <p>自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工 38 (g) )</p> <p>機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2m の範囲とする。</p> <p>トラップ形式はフロードボール式 (床置型) ※ FRP 製保温型 ● FRP 製 ● SUS 製</p> <p>材質及び厚さ ● S S 4 0 0 ( ※ 3. 2mm ● 4. 5mm ) ● S U S ( ※ 1. 5mm ● 2. 0mm )</p> <p>煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付産を付ける</p> <p>煤じん量測定口 (80φ × 2) ● 取付ける ● 取付けない</p> <p>油面計はゲージ式 (側圧計) とする。</p> <p>据付け方法 ● 標準図 (施工 32) (二重設タンク・タンク室無し) ● 標準図 (施工 33) (タンク室有り)</p> <p>タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト</p> <p>基礎杭 ※ 不要 ● 要 ( ※ 別途工事 ● 本工事 )</p> <p>土留め工事 ● 要 ● 不要</p> <p>タンクローリー用アース端子を設ける。</p> <p>油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 機器表特記による。</li> </ul> <p>● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は 1 ユニットの場合は 1 セットを付属品として納入する。</p> <p>インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。</p> <p>標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。</p> <p>※ 垂鉛鉄板製 ● 鋼板製 (厚 1.6mm)</p> <p>形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形</p> <p>取付け ● 天井取付 ● 壁取付</p> <p>電気式 (遠隔操作 ※ 不要 ● 要)</p> <p>建築設備定期検査業務基準書 2016 年版 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の検査方法に準ずる。</p> <p>● 有り (構成機能は、図示による) ● 無し</p> <p>● 要 ( ● 本工事 ● 別途工事 ) ● 不要</p> <p>取付高さ ※ 1300mm ● mm</p> <p>● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。</p> <p>● 天井隠べいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。</p>		外気条件				室内 (調整目標値)				一 般		( )		一 般		( )		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	( DB )	( RH )	( DB )	( RH )	( DB )	( RH )	( DB )	( RH )	夏 季		℃	%		℃	%		℃	%	冬 季		℃	%		℃	%		℃	%	<p>⑥ 衛生器具設備</p> <p>⑦ 給水設備</p> <p>⑧ 排水設備</p> <p>⑨ 給湯設備</p> <p>10 消火設備</p> <p>⑩ ガス設備</p> <p>12 浄化槽設備</p>	<p>① 衛生器具の参考型番</p> <p>2 小便器用節水装置</p> <p>3 自動水栓</p> <p>4 大便器洗浄弁</p> <p>5 温水洗浄便座</p> <p>6 器具と排水管接続</p> <p>① 量水器</p> <p>② 配管材料</p> <p>③ 弁類</p> <p>4 水槽のマンホール</p> <p>① 配管材料</p> <p>② 排水試験継手</p> <p>3 バイブシャフト内配管の保温</p> <p>4 煙試験</p> <p>① 配管材料</p> <p>2 弁類</p> <p>10 消火設備</p> <p>1 都市ガス設備</p> <p>② 配管材料</p> <p>③ ガスメーター</p> <p>4 バルク貯槽</p> <p>5 容器廻りの配管</p> <p>6 容器転倒防止</p> <p>⑦ ガス漏れ警報器</p> <p>12 1 処理種別及び方式</p> <p>2 型式</p> <p>3 処理能力</p> <p>4 放流水の水質</p> <p>5 排水方式</p> <p>6 埋戻し工</p> <p>7 土留め工事</p> <p>8 マンホールふた</p> <p>9 消毒薬</p> <p>型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。</p> <p>※ 小便器一体型 ● 小便器分離型</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 洗浄水量 4リットル/回以下</li> </ul> <p>※ 個別感知方式 ( ● A C 電源 ● 自己発電 ● 乾電池 ) ● 手動式</p> <p>電源供給方式 ● A C 電源 ● 自己発電 ● 乾電池</p> <p>操作方式 ● 電気開閉式 ( ● センサー式 ● タッチスイッチ式 ) ● 手動式</p> <p>洗浄用水加温方式 ● 瞬間式 ● 貯湯式</p> <p>※ 標準図 (施工 64) ● 標準図 (施工 65)</p> <p>① 親メーター ※ 借用 ● 買取 ( ※ 直読 ● 遠隔表示 )</p> <p>● 子メーター ※ 買取 ● 借用 ( ※ 直読 ● 遠隔表示 )</p> <p>(ア)一般配管 ● S G P-V B ● S G P-P B ● S U S 3 0 4 ● S U S 3 1 6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● H I V P ● 架橋ポリエチレン管</li> </ul> <p>(イ)土間下配管 ● S G P-V D ● S G P-P D ● H I V P ● S U S 3 0 4 ● S U S 3 1 6</p> <p>(ウ)地中配管 ● S G P-V D ● S G P-P D ● H I V P ● S U S 3 0 4 ● S U S 3 1 6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 水道配水用ポリエチレン管 (75～100A) ● 水道用ポリエチレン二層管 (50A以下)</li> </ul> <p>(エ)特記なき給水管の最小口径は 20A とする。</p> <p>(オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合 (直管以外の継手には離脱防止金具取付とする。)</p> <p>(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手</p> <p>※ 口径 65A 以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 5K (受水槽以降の配管に使用) ● 10K (公営水道に直結する配管に使用)</li> </ul> <p>① 公営水道事業者指定の止水栓又は弁 (給水引込部に使用)</p> <p>屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形 (二重蓋含む) とする。</p> <p>(ア)屋内汚水処理 ● V P ● R F-V P ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火 V P</p> <p>(イ)屋内雑排水処理 ● V P ● R F-V P ● S G P (白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火 V P</p> <p>(ウ)ポンプ排水処理 ● V P (水道用) ● H I V P ● 排水用塩ビライニング鋼管 (圧送排水鋼管用継手)</p> <p>(エ)通気管 ● V P ● R F-V P ● S G P (白) ● 耐火 V P</p> <p>(オ)屋外排水処理 ● V P ● R F-V P ● V U (地中) ● R E P-V U (地中)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● R S-V U ● 卵形管 ● コンクリート管</li> </ul> <p>3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない</p> <p>※ 施工する ● 施工しない</p> <p>※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う</p> <p>● S G P-H V A ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管</li> </ul> <p>湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。</p> <p>※ 5 K ● 1 0 K</p> <p>(ア)一般配管 ● S G P (白) ● S T P G</p> <p>(イ)土間下配管 ● S G P-V S ● S T P G-V S</p> <p>(ウ)地中配管 ● S G P-V S ● S T P G-V S</p> <p>※ 10 K ● 16 K</p> <p>(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別 e3・(ハ)・(四)による)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 屋内消火栓用 ( ※ 施工しない ● 施工する ) ● スプリングラウ用 ( ※ 施工しない ● 施工する )</li> <li>● 連結送水用 ( ※ 施工しない ● 施工する ) ● 連結放水用 ( ※ 施工しない ● 施工する )</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 広範囲型 2号消火栓 ● 易操作性 1号消火栓 ● 屋内消火栓 ( ● 1号 ● 2号 )</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 窒素 ● I G-541 ● I G-55 ● H F C-227 e a ● H F C-23</li> </ul> <p>※ 手動 ● 自動手動切替式</p> <p>都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。</p> <p>(ア)一般配管 ● S G P (白) ● 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(ウ)地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管</p> <p>① 親メーター ※ 借用 ● 買取 (取付け ※ 別途 ● 本工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取</li> </ul> <p>● 標準図 (施工 73) の ● 要領 (a) ● 要領 (b) ● 要領 (c)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 標準図 (施工 74) の ● 要領 (a) ● 要領 (b)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 不要 ● 要 ( ※ 別途工事 ● 本工事 )</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小規模合併処理 ( ● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● その他性能評価を受けた方式 ( ) )</li> <li>● 合併処理 ( ● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式 )</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ユニット型 ● 現場施工型</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m<sup>3</sup>/d</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 流入 BOD 200mg/L ● 放流水質 BOD 20mg/L 以下</li> <li>● T-N mg/L 以下 ● T-P mg/L 以下</li> </ul> <p>※ 自然流下 ● ポンプ排水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 砂 ● 掘切土の中の良質土</li> <li>● 不要 ● 要 (図示による)</li> </ul> <p>※ 製造業者標準仕様 (ロック式) ● MHA 型 (ポルト式)</p> <p>3ヶ月相当分を納入する。</p>
	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																																																																																																							
	配管フランジパッキン		M-15 特記事項参照																																																																																																																																							
	設計用標準水平地震度	● 特定の施設	● 一般の施設																																																																																																																																							
	設置場所	● 重要機器	● 重要機器																																																																																																																																							
	上 層 階	機 器 2. 0 1. 5 1. 5 1. 0	機 器 2. 0 2. 0 2. 0 1. 5																																																																																																																																							
	屋上、塔屋	水 槽 類 2. 0 1. 5 1. 5 1. 0	機 器 1. 5 1. 0 1. 0 0. 6																																																																																																																																							
	中 間 階	防振設置機器 1. 5 1. 5 1. 5 1. 0	水 槽 類 1. 5 1. 0 1. 0 0. 6																																																																																																																																							
	地階・1階	機 器 1. 0 0. 6 0. 6 0. 4	防振設置機器 1. 0 1. 0 1. 0 0. 6																																																																																																																																							
		水 槽 類 1. 5 1. 0 1. 0 0. 6	水 槽 類 1. 5 1. 0 1. 0 0. 6																																																																																																																																							
	外気条件				室内 (調整目標値)																																																																																																																																					
	一 般		( )		一 般		( )																																																																																																																																			
	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度																																																																																																																																		
( DB )	( RH )	( DB )	( RH )	( DB )	( RH )	( DB )	( RH )																																																																																																																																			
夏 季		℃	%		℃	%		℃	%																																																																																																																																	
冬 季		℃	%		℃	%		℃	%																																																																																																																																	
	外気条件				室内 (調整目標値)																																																																																																																																					
	一 般		( )		一 般		( )																																																																																																																																			
	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度																																																																																																																																		
( DB )	( RH )	( DB )	( RH )	( DB )	( RH )	( DB )	( RH )																																																																																																																																			
夏 季		℃	%		℃	%		℃	%																																																																																																																																	
冬 季		℃	%		℃	%		℃	%																																																																																																																																	
	<p>一級建築士事務所／建築設備設計事務所</p> <p>Mechanical &amp; Electrical Engineers</p> <p><b>X.PLAN</b></p>	<p>一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号</p> <p>管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号</p> <p>建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号</p>	<p>承認</p> <p>田村</p>	<p>管理技術者</p> <p>板倉</p>	<p>担当</p> <p>米原</p>	<p>作図</p> <p>米原</p>	<p>縮尺</p> <p>NS</p>	<p>工事名称</p> <p>県営住宅外江団地第一期エコ改善工事 (58棟) (機械設備)</p>	<p>図面番号</p> <p>M-03</p>																																																																																																																																	
							<p>設計年月日</p> <p>2024.11</p>	<p>図面名称</p> <p>機械設備工事特記仕様書 (2)</p>	<p>21</p>																																																																																																																																	



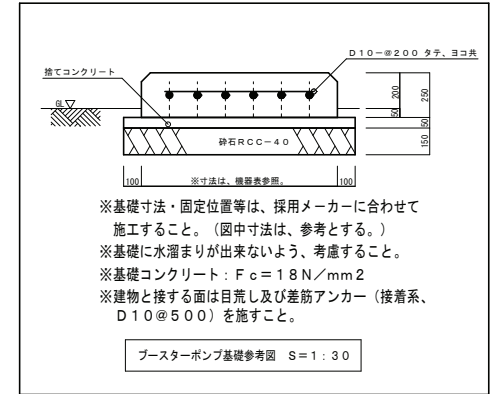
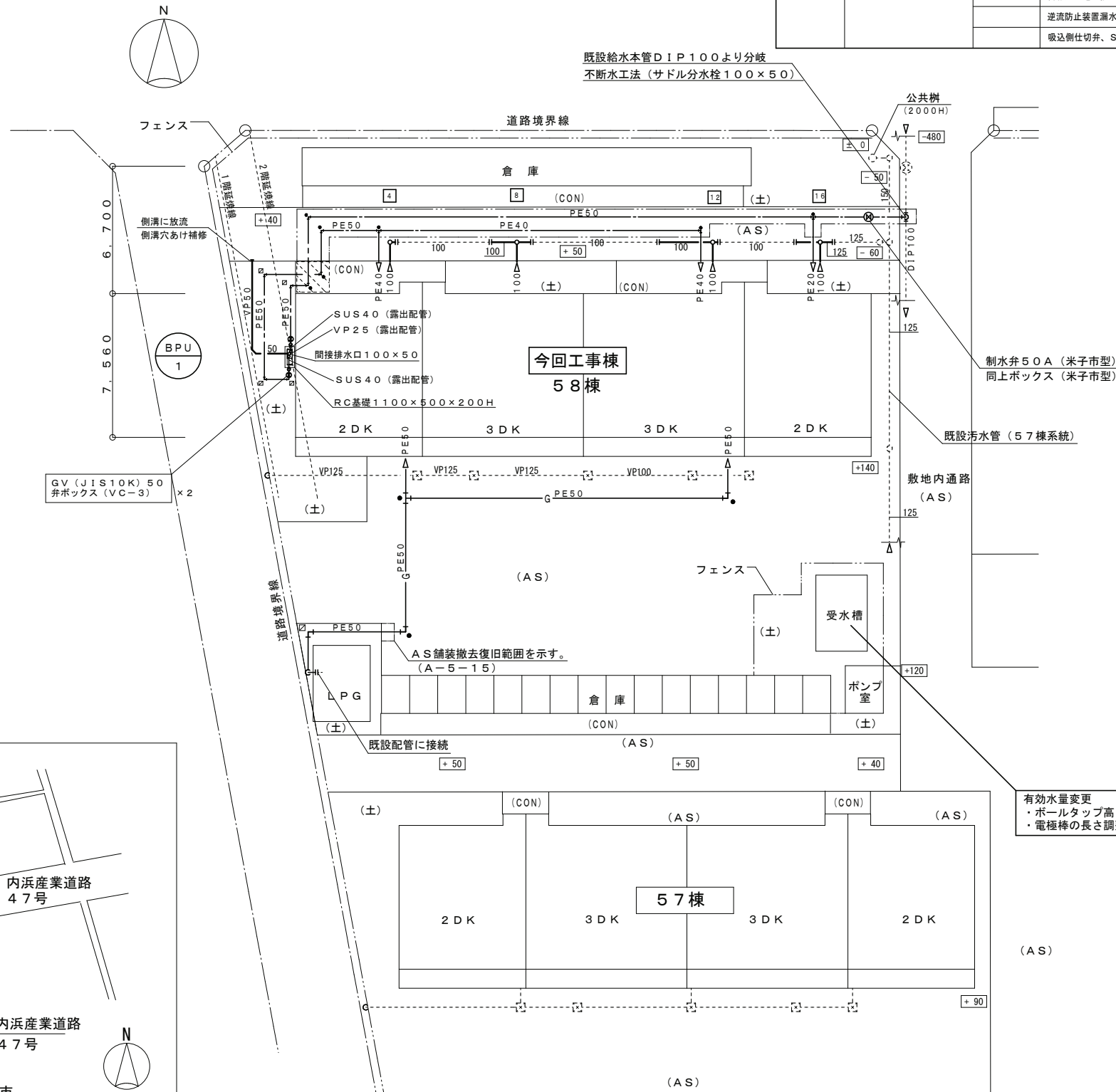
機械設備工事概要

- 撤去工事 (16戸)**
- 【58棟】
- ・57棟高架水槽からの屋外埋設給水管撤去
  - ・屋外排水設備撤去 (汚水・雑排水樹そのまま (※一部撤去))
  - ・屋外ガス設備撤去
  - ・各住戸内 衛生・給水・排水・給湯・ガス・換気設備撤去
  - ・外断熱工事に干渉するエアコン室外機5台取外し (冷媒・ドレン管撤去)
- 改修工事 (16戸)**
- 【58棟】
- ・給水管引込工事、屋外給水設備新設
  - ・屋外排水設備改修 (既設塩ビ樹再利用 (※一部新設))
  - ・ガス管引込工事、屋外ガス設備新設
  - ・各住戸内 衛生・給水・排水・給湯・ガス設備新設
  - ・各住戸内 換気設備新設
  - ・外断熱工事に干渉するエアコン室外機5台再取付 (冷媒・ドレン管新設)

※工事条件 (入居者) :  
既入居者は工事期間中、仮移転を行う、また家財等は仮移転先に搬出する。

衛生機器リスト (国土交通省仕様)

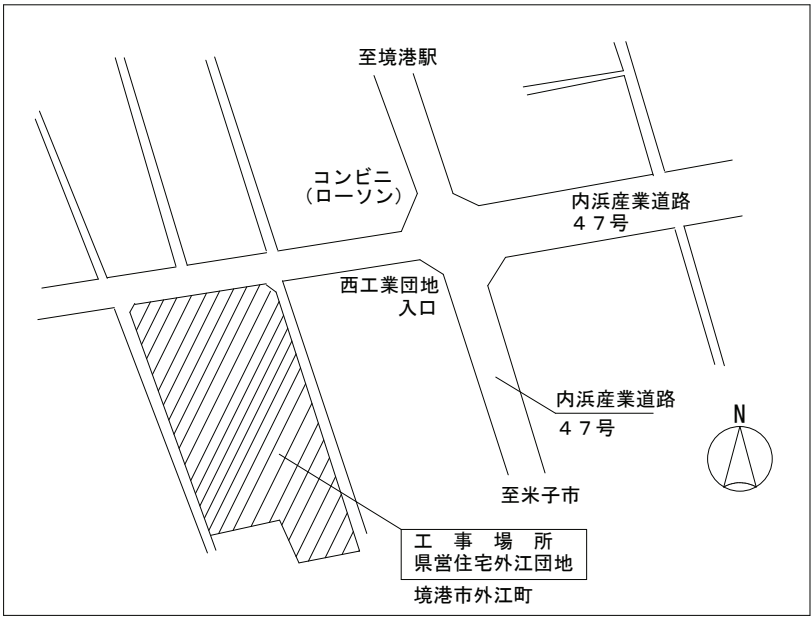
記号	名称	仕様	電圧容量	数量	設置場所・備考
BPU-1	直結ブースターポンプユニット (高調波対策付)	形式 自立屋外設置、推定末端圧一定型、自動交互運転 (社) 日本水道協会認証品 ポンプ SUS製インバーター縦型多段ポンプ 能力 $\phi 40 \times \phi 40 \times 130 \downarrow / \text{min} \times 19 \text{mH}$ 付属品 制御盤、減圧式逆流防止装置、転倒防止支持金物、凍結防止仕様、効率改善リアクトル 警報用無電圧接点一括 (故障ELBトリップ) 外部警報ブザー端子、ヒーター回路、雷サージ対策 逆流防止装置漏水検知器、逆流防止器点検窓、防振継手 (吐出側・吸込側)、吐出側仕切弁 吸込側仕切弁、SUS製基礎ボルト、赤水対策仕様、ストレーナー、SUS製蓋上げ架台300H	3φ 200V 1.1kW	1	屋外 RC基礎工事



凡例 (新設)

	AS舗装撤去復旧範囲を示す。 (A-5-15)
	コンクリート舗装撤去復旧範囲を示す。 (C-15-15)

※AS舗装撤去復旧範囲の白線、駐車番号等は復旧すること。  
※汚水管改修に伴うAS、CON舗装撤去復旧範囲はM-15図を参照すること。



付近見取図

衛生設備 改修後 配置図 S=1/200

特記事項  
※ 指示なき配管は地中埋設を示す。



衛生器具表

改修後

名称	参考品番	仕様(附属品)	2DK×8室				3DK×8室				屋外	数量		
			WC	脱衣室	浴室	DK	P	WC	脱衣室	浴室			DK	P
腰掛洋風便器	CS325BPR	手洗付密結形ロータンク(SH335BA)、普通便座(TC301)、ワンタッチ紙巻器(YH51R)、タオルリング(YT51R)、塩ビ管(Y9206)							1					8
	(床給水、後ろ抜き排水)													
腰掛洋風便器	CS140P	手洗付隅付ロータンク(S670BU)、普通便座(TC300)、ワンタッチ紙巻器(YH51R)、タオルリング(YT51R)、左右抜き排水ジョイント(HP80L)、	1											8
	(床給水、壁排水)	止水栓給水L管(カクダイ:4680-200×500)												
手すり	EWT22AG35	L型 700×600、天然木丸棒35φ、コーナー・エンドホルダー35φ、コンクリート固定(T110D29)							1					8
手すり	EWT3AG6Z	I型 600、セーフティタイプ32φ	1											8
洗面化粧台	LDBA060BAGMS1A	間口600タイプ、シングルレバー混合栓、ストレート型止水栓×2、Sトラップ、タオル掛け(YT51S4R)	1						1					16
化粧鏡	LMBA060B1GDC1G	600幅、LEDランプ・エコミラー、1面鏡	1						1					16
洗濯機用水栓	TW11R		1						1					16
洗濯機パン	PWSP80J2W	800サイズ、樹脂製、縦引トラップ共 (1階×4ヶ)	1						1					4
洗濯機パン	PWSP80H2W	800サイズ、樹脂製、横引トラップ共 (2~4階×12ヶ) ※かさ上げ用木台:建築工事	1						1					12
湯水混合水栓	TKS05301J	シングルレバー式、台付タイプ、ストレート形止水栓×2				1					1			16
キー式ホーム水栓	T200CSNR13												2	2
水栓柱	樹脂製	仕上げ面+900H											2	2
研ぎ出し流し	550U型(みかけ)	埋め込みタイプ、参考寸法:550×470×160H、レジコン製、鎖付ゴム栓共											2	2
ヒューズコック	双口	15A×9.5φ						1			1			16
水道メーターユニット	20A用	集合住宅PS用、1次側止水栓・2次側逆止弁付、量水器保温カバー						1			1			16
量水器	20A(水道局貸与品)	各戸系統(※取付は本工事)							(1)			(1)		(16)
量水器	13A(水道局貸与品)	共用系統(※取付は本工事)											(1)	(1)
ガスメーター		マイコン型 ※本体及び取付共別途工事範囲							(1)			(1)		(16)
ユニットバス		(建築工事施工) ※配管接続 本工事 シャワーセット、排水トラップ、照明器具共付属品				(1)					(1)			(16)
流し台		(建築工事施工) ※配管接続 本工事 排水トラップ付属品				(1)					(1)			(16)

※表内型番は、参考品番とする。  
 ※WCの手すりの取付は本工事とする。  
 ※本工事で取付する衛生器具等取付部の壁補強は、本工事とする。  
 ※数量表内の( )書きは機器は別途工事を示す。ただし取付等は仕様欄のとおりとする。

衛生設備機器表

改修後

記号	名称	仕様	動力		台数	設置場所	備考
			φ-V	W			
GH-1	ガス瞬間給湯器 (給湯専用)	型式 屋外壁掛型(給湯専用)オートストップ付 耐塩害仕様 アース付プラグ仕様 能力 20号(LPGガス仕様) ガス消費量 42.6kW(36,600kcal/h) 付属品 台所リモコン(コード15m)、サブリモコン(コード15m) 配管化粧カバー1200H共 付属品一式	1-100	43	8	2DK 各戸バルコニー	リモコン及びコードは 別途電気工事へ支給
GH-2	ガス瞬間給湯器 (給湯専用)	型式 屋外壁掛型(給湯専用)オートストップ付 耐塩害仕様 アース付プラグ仕様 能力 20号(LPGガス仕様) ガス消費量 42.6kW(36,600kcal/h) 付属品 台所リモコン(コード8m)、サブリモコン(コード15m) 配管化粧カバー1000H共、ガス給湯器用庇、付属品一式	1-100	43	8	3DK 各戸バルコニー	リモコン及びコードは 別途電気工事へ支給



一級建築士事務所/建築設備設計事務所

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第03-1014号  
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第370007号  
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第28F2-7001NT号

承認 田村  
 管理技術者 板倉  
 担当 米原  
 作図 米原

縮尺 NS  
 設計年月日 2024.11

工事名称 県営住宅外江団地第一期エコ改善工事(58棟)(機械設備)  
 図面名称 衛生設備 改修後 衛生器具表・機器表

図面番号 M-05 / 21

樹リスト (改修)

記号	名称	仕様及び参考寸法	蓋	備考
1	塩ビ製小口径樹	100×200×840H、90L	塩ビ製蓋	汚水樹
2	"	100×200×870H、90Y	"	"
3	"	100×200×890H、90Y	"	"
4	"	100×200×930H、90Y	防護蓋T8	"
5	"	100×200×940H、90L	塩ビ製蓋	"
6	"	100×200×970H、90Y	"	"
7	"	100×200×1000H、90Y	"	"
8	"	100×200×1040H、90Y	防護蓋T8	"
9	"	100×200×1070H、90L	塩ビ製蓋	"
10	"	100×200×1100H、90Y	"	"
11	"	100×200×1130H、90Y	"	"
12	"	100×200×1170H、90Y	防護蓋T8	"
13	"	100×200×1170H、90L	塩ビ製蓋	"
14	"	100×200×1190H、90Y	"	"
15	"	100×200×1220H、90Y	"	"
16	"	125×200×1230H、90Y	防護蓋T8	"

※各樹の高さは参考とする。  
※排水勾配は原則1/100以上とする。

特記事項 (改修後共通)

- ※防火区画を貫通する配管は、隙間をモルタル等で、充填すること。
- ※管材質は上記表及び機械設備工事仕様書による。
- ※直任給水に使用する配管・継手及び水栓は、JIS又はJWWA等水道局の認定するものを使用すること。
- ※架橋ポリエチレン管は2階以上のスラブ転がし配管及び水栓立上り配管に使用し、給湯器内配管は給水SGP-VB、給湯SGP-HVAを使用する。
- ※ガス給湯器を除く、各給水・給湯の器具立上り管の口径は15Aとする。
- ※架橋ポリエチレン管は分岐工法とし、継手はメカニカル継手を使用する。
- ※耐火VP (FS-VP) は認定番号PS060FL-0376とする。
- ※硬質塩化ビニル管 (VP) の屋外露出部分はカラーVPとする。
- ※図中 印は、既設管を示す。
- ※図中 は、既設管への接続部を示す。
- ※図中 印は、防火区画を示す。(階段室壁穴区画)
- ※ 印は、埋設表示柱を示す。
- ※ 印は、埋設表示ピンを示す。
- ※ 既設壁、床の配管貫通部はつり補修ヶ所 (モルタル充填) (仕上げの補修は、別途建築工事)
- ※ 既設壁、床の配管穴再利用ヶ所 (モルタル充填) (仕上げの補修は、別途建築工事)
- ※ 床下配管ピット部を示す。
- ※図中「AS」部は、既設アスファルト舗装部分を示す。
- ※図中既設各管の口径・ルート等は、再度既設設備を調査して施工すること。
- ※図中器具等の品番は全て参考とし、メーカー等を指定しないものとする。
- ※図中排水樹の深さ等は参考とし、現場にて再確認を行うこと。
- ※天井ボード撤去・復旧、壁床の仕上げ改修及び防水補修は全て別途建築工事とする。
- ※ユニットバス付属水栓へ配管接続まで本工事範囲とする。
- ※給湯器のリモコン取付け及び配管・入線は電気設備工事とし、リモコン本体及びケーブルは、電気設備へ支給する。
- ※施工に必要な内外部の足場 (脚立足場程度を除く) は、原則として別途建築工事の足場を利用する。
- ※耐火VPの塗装は専用の塗料、工法で施工すること。
- ※外壁工事で支障となるエアコン室外機は、取外し・再取付を行うこと。(5台想定) また、冷媒・ドレン管は撤去・新設を行う。取外し・再取付の際は、入居者の立会いのもと実施し、試運転等を行い入居者に確認をしてもらうこと。
- ※再使用する室外機の冷媒は撤去時にポンプダウンし、再取付時に必要に応じて追加充填を行うこと。
- ※取外し・再取付を行う機器等は、埃落とし程度の軽微な清掃を行い、再取付を行うこと。
- ※掃除口付満水試験継手の固定ボルト・ナットはステンレス製とすること。
- ※既設壁等の貫通は、鉄筋位置を調査の上行うこと。(壁等の鉄筋切断箇所の補強は、別途建築工事とする。)
- ※壁等の貫通が必要な箇所の貫通位置は、監督員と協議の上決定すること。
- ※既設設備を十分調査して施工すること。
- ※外壁貫通部配管の外壁断熱材とのすき間埋め補修は別途建築工事とする。

管 材 凡 例 (PS内・バルコニー、外壁露出等) <屋内共用>

給水管: ステンレス鋼管 (量水器1次側)	・・・SUS (JWWA-G115)
給水管: 硬質塩化ビニル管 (量水器2次側)	・・・SGP-VB (JWWA-K116)
ガス管: 配管用炭素鋼鋼管 (白)	・・・SGP-B (JIS G 3452)
雑排水、汚水: 耐火VP (外壁立管)	・・・FS-VP
(M-07参照): 硬質塩化ビニル管 (宅内)	・・・VP (JIS-K-6741)
: カラー硬質塩化ビニル管 (屋外露出)	・・・VP (JIS-K-6741)

管 材 凡 例 (床下ピット) <屋内共用>

給水管: ステンレス鋼管	・・・SUS (JWWA-G115)
--------------	--------------------

管 材 凡 例 (住戸内)

給水管: 硬質塩化ビニル管 (器具立上り、流し台裏、給湯器廻り)	・・・SGP-VB (JWWA-K116)
給水管: 架橋ポリエチレン管 (床下スラブ上)	・・・PEX (JIS-K-6769)
給湯管: 耐熱塩化ビニル管 (器具立上り、流し台裏、給湯器廻り)	・・・SGP-HVA (JWWA-K140)
給湯管: 架橋ポリエチレン管 (床下スラブ上)	・・・PEX (JIS-K-6769)
ガス管: 配管用炭素鋼鋼管 (白)	・・・SGP-B (JIS-G-3452)
雑排水、汚水: 硬質塩化ビニル管	・・・VP (JIS-K-6741)
: カラー硬質塩化ビニル管	・・・VP (JIS-K-6741)

管 材 凡 例 (床下ピット) <1階住戸内>

給水管: 硬質塩化ビニル管	・・・SGP-VB (JWWA-K116)
給湯管: 耐熱塩化ビニル管	・・・SGP-HVA (JWWA-K140)
雑排水、汚水: 硬質塩化ビニル管	・・・VP (JIS-K-6741)
ガス管: 密着一層型ポリエチレン被覆鋼管	・・・PLS (JIS-G-3469)

管 材 凡 例 (屋外埋設) <屋外共用>

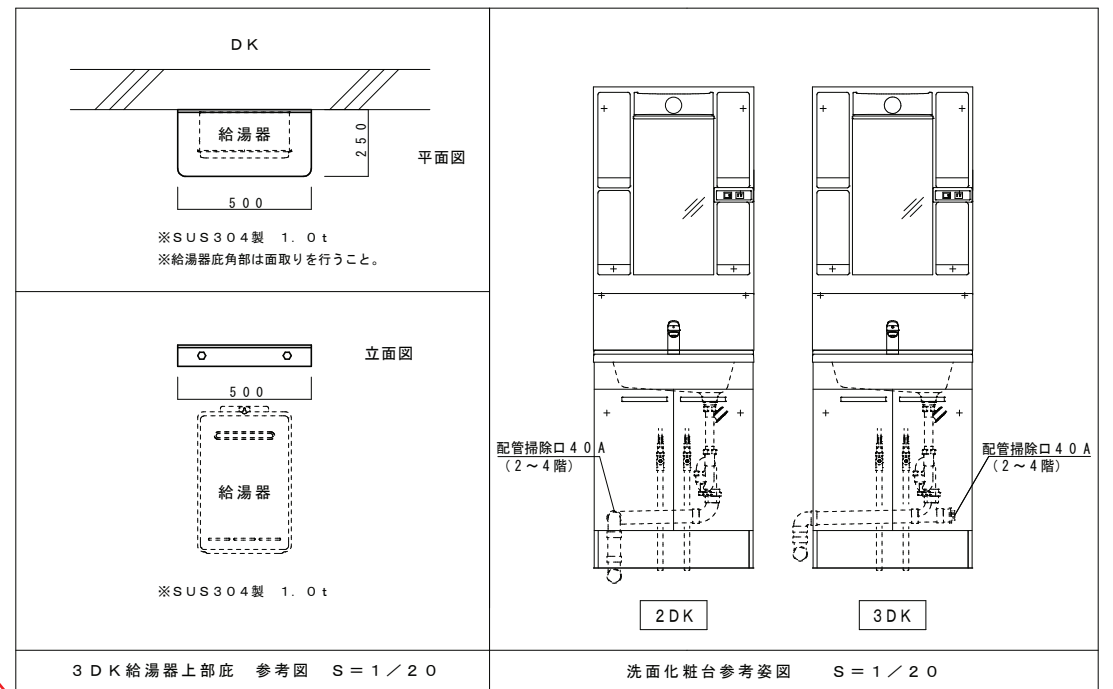
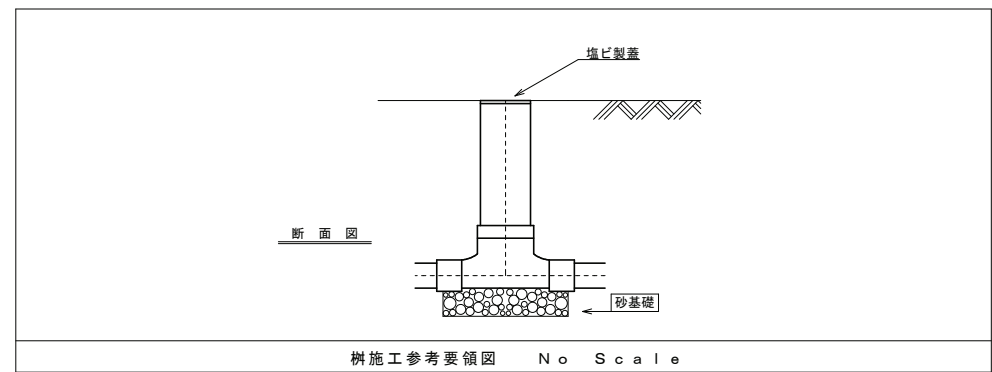
給水管: ポリエチレン管 (軟質一種二層管) (量水器1次側)	・・・PE (JIS-K6762)
給水管: ポリエチレン管 (軟質一種二層管) (量水器2次側)	・・・PE (JIS-K6762)
排水: 硬質塩化ビニル管 (第一階以降)	・・・VP (JIS-K-6741)

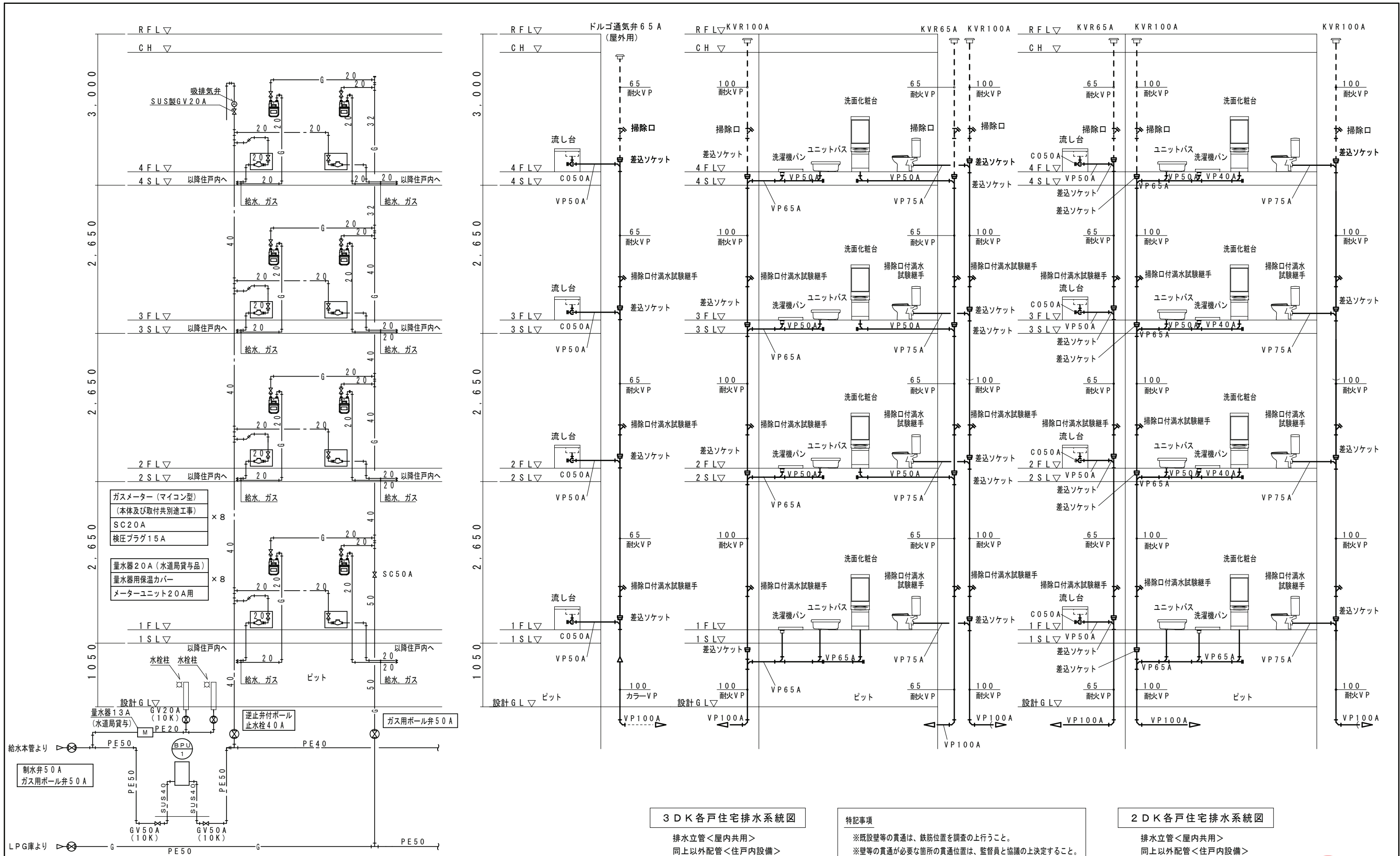
管 材 凡 例 (ポンプ廻り: 屋外架空) <屋外共用>

給水管: ステンレス鋼管	・・・SUS (JWWA-G115)
排水: 硬質塩化ビニル管	・・・VP (JIS-K-6741)

各設備配管防露・塗装仕様

配管名	施工場所	仕 様
給水管	PS	ポリスチレンフォーム20t+アルミガラスクロス粘着テープ
	住戸内全て	保温チューブt=10 (架橋ポリエチレン管部は、管付属の被覆10tとする)
	1階床下	保温チューブt=20 (32A以上は、ポリエチレンフォーム20t+ポリフィルム+着色アルミガラスクロス)
	屋外露出	ポリスチレンフォーム20t+ポリフィルム+ステンレス鋼板
	給湯器カバー内	保温チューブt=20
排水管	住戸内	不要
	床下	不要
	屋内露出	グラスウール20t+合成樹脂製カバー
	屋外露出	ポリウレタン樹脂仕上げ※カラーVP部を除く
給湯管	住戸内全て	保温チューブt=10 (給湯用) (架橋ポリエチレン管部は、管付属の被覆10tとする)
	1階床下	保温チューブt=20 (給湯用)
	給湯器カバー内	保温チューブt=20 (給湯用)
ガス管	PS	不要 (ねじ部錆止めペイント)
	住戸内全て	不要 (ねじ部錆止めペイント)
	給湯器カバー内	錆止めペイント1回+合成樹脂調合ペイント2回
	屋外露出	錆止めペイント1回+合成樹脂調合ペイント2回





各戸住宅PS系統図 2DK・3DK  
給水・ガス立管、ピット内配管<屋内共用>  
同上以外配管<住戸内設備>

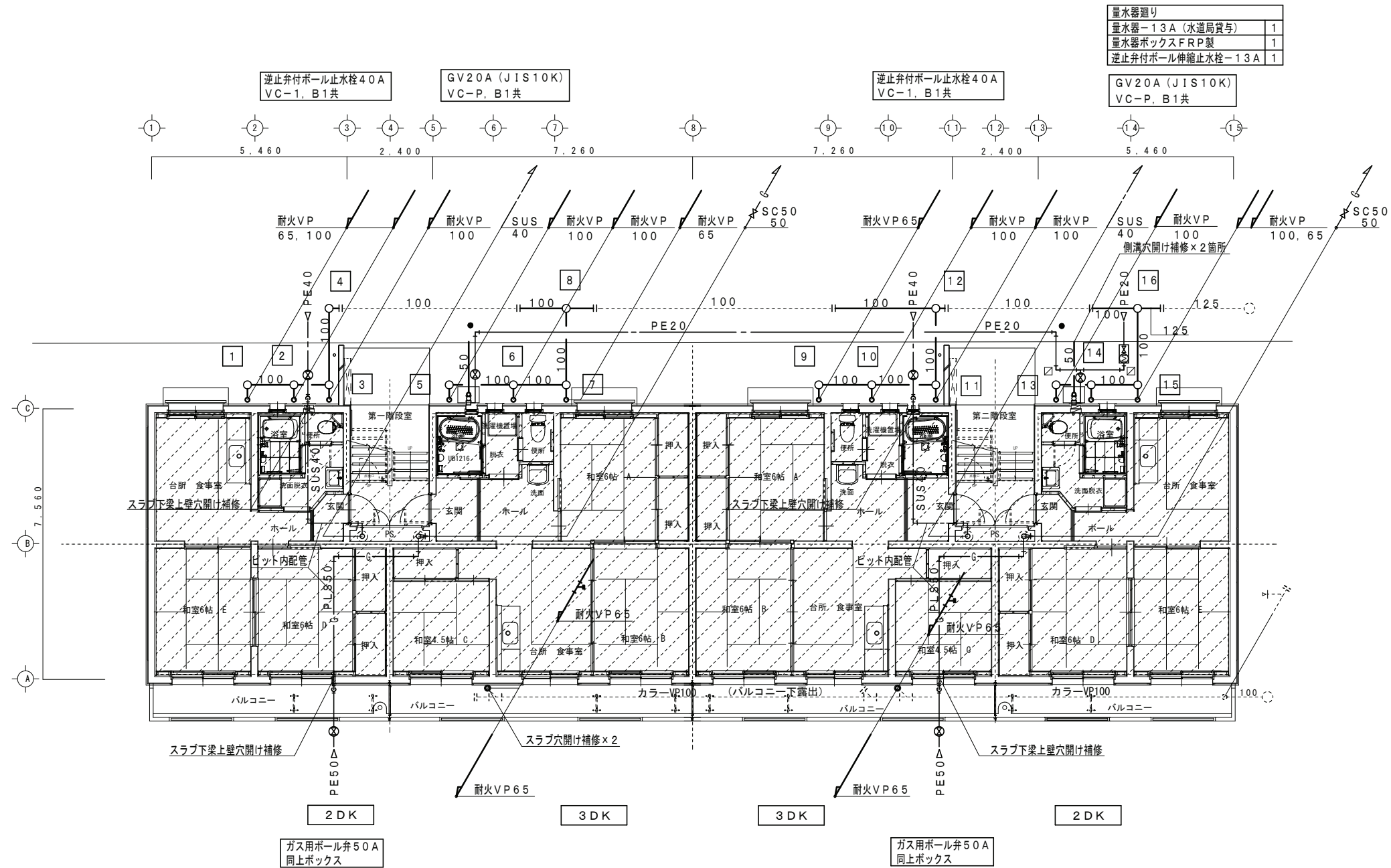
3DK各戸住宅排水系統図  
排水立管<屋内共用>  
同上以外配管<住戸内設備>

特記事項  
※既設壁等の貫通は、鉄筋位置を調査の上行うこと。  
※壁等の貫通が必要な箇所の貫通位置は、監督員と協議の上決定すること。

2DK各戸住宅排水系統図  
排水立管<屋内共用>  
同上以外配管<住戸内設備>

衛生設備 改修後 配管系統図





量水器廻り	
量水器-13A (水道局貸与)	1
量水器ボックスFRP製	1
逆止弁付ボール伸縮止水栓-13A	1

逆止弁付ボール止水栓40A VC-1, B1共  
GV20A (JIS10K) VC-P, B1共

逆止弁付ボール止水栓40A VC-1, B1共  
GV20A (JIS10K) VC-P, B1共

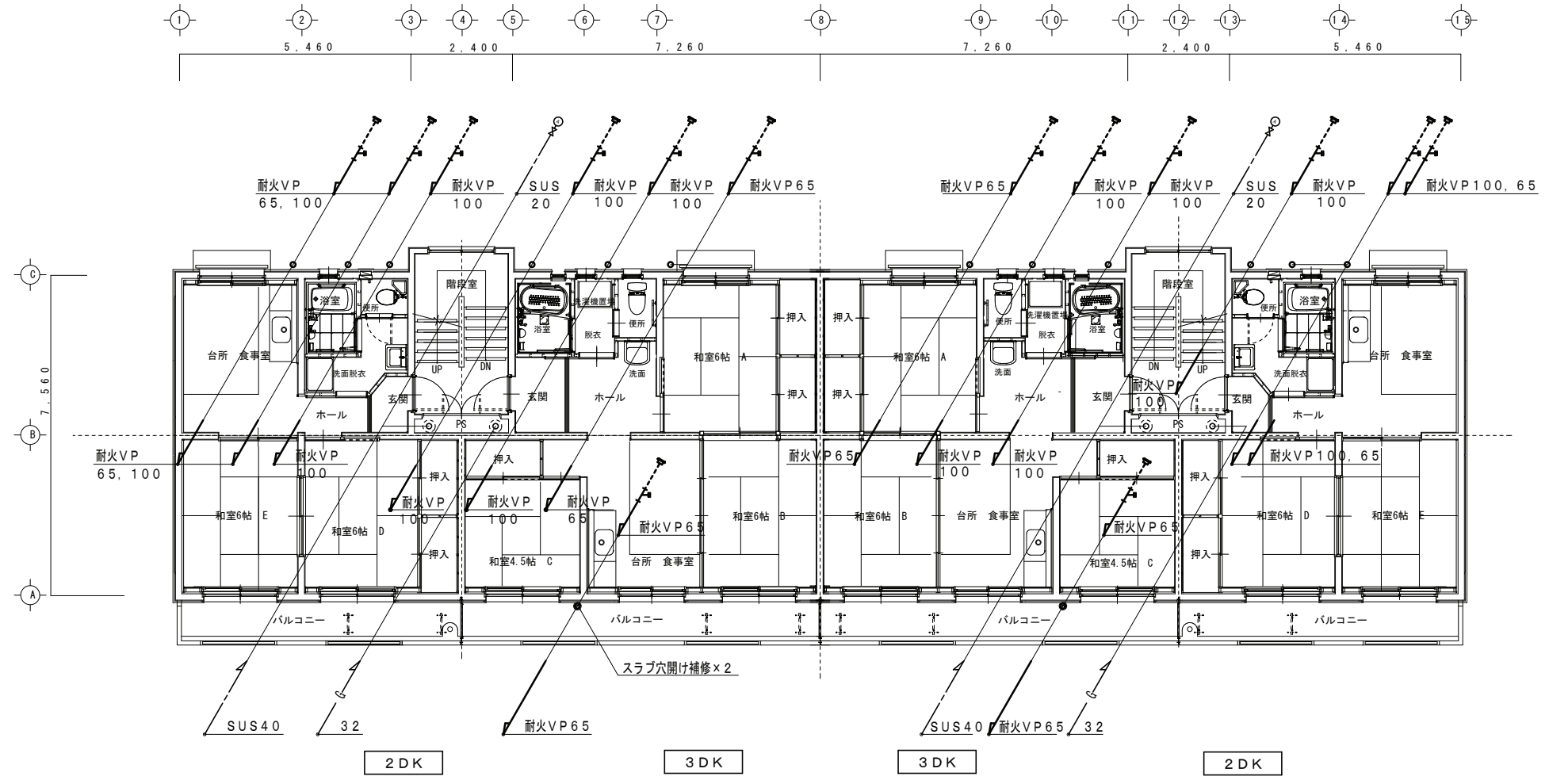
衛生設備 改修後 1階・屋外平面図 S=1/100

特記事項

- ※ PS内分岐管以降の給水・ガス立管サイズは系統図参照のこと。
- ※ 今回工事建物の内、再利用する既設汚水管、雑排水管及び樹は高圧洗浄にて清掃を行うこと。
- ※ 図中 ..... (細破線) 部の既設配管等は、そのままとする。



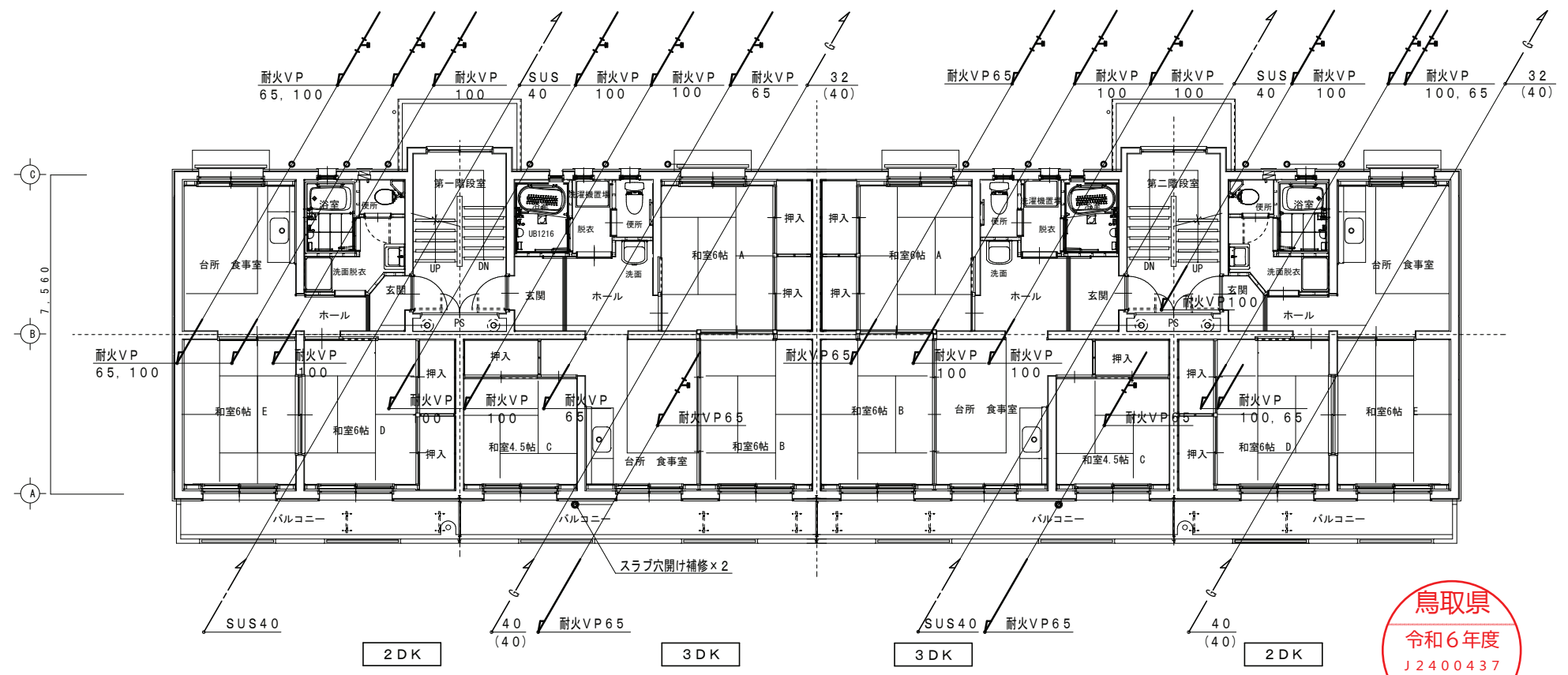
一級建築士事務所／建築設備設計事務所 <b>X.PLAN</b> Mechanical/Electrical/Plumbing	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/100 (A2)	工事名称	県営住宅外江団地第一期エコ改善工事 (58棟) (機械設備)	図面番号	M-08
		田村	板倉	米原	米原	設計年月日	2024.11	図面名称	衛生設備 改修後 1階・屋外平面図	21	



KVR (AC) 65A	4
KVR (AC) 100A	8
掃除口 65A	6
掃除口 100A	8
ドルゴ通気弁 65A (屋外用)	2
SUS製吸気弁 20A	2
SUS製GV (JIS10K) 20A	2

掃除口付満水試験継手 65A	18
掃除口付満水試験継手 100A	26
差込みソケット 65A	24
差込みソケット 100A	32

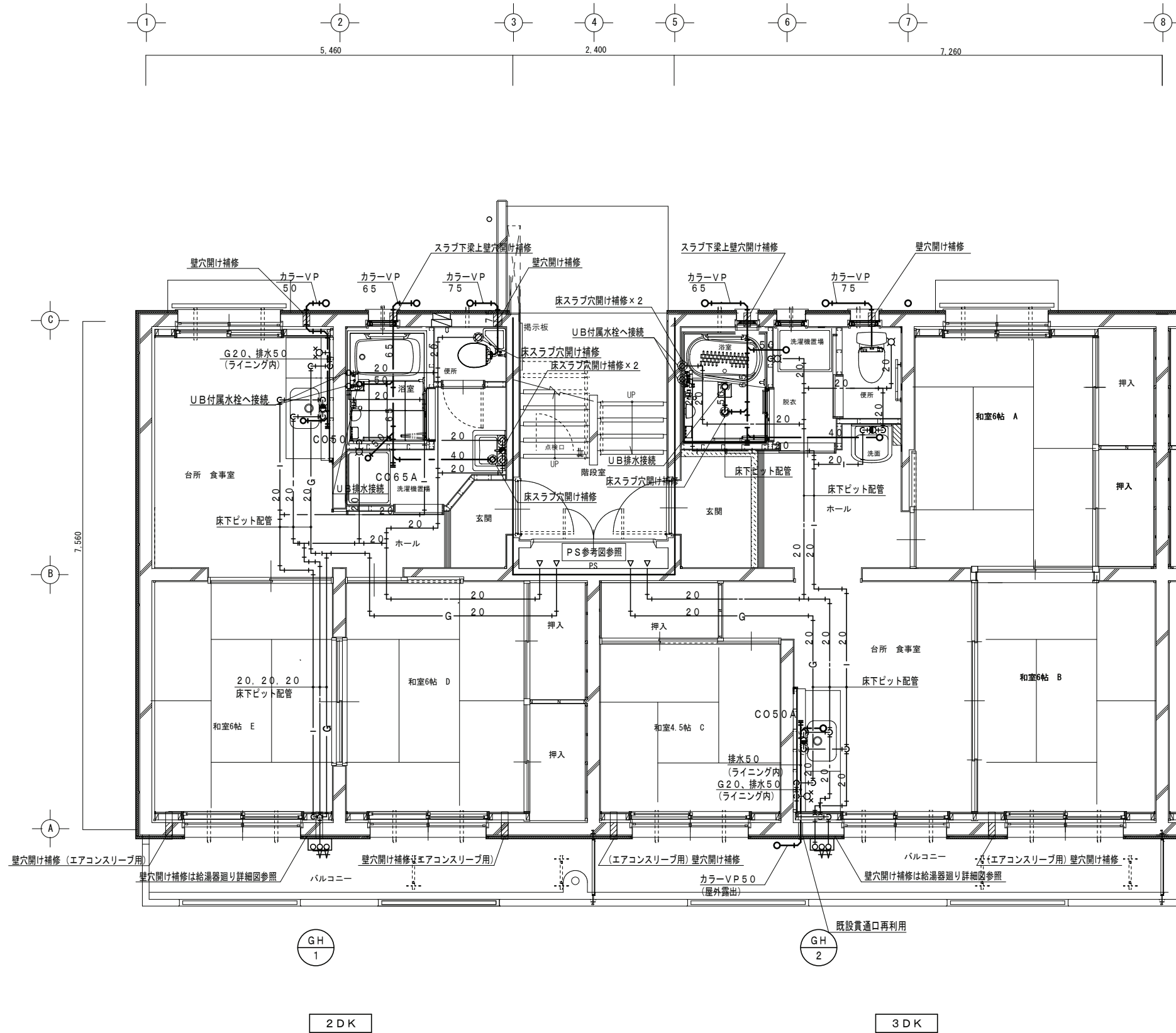
衛生設備 改修後 4階平面図 S=1/100



衛生設備 改修後 2、3階平面図 S=1/100



特記事項  
※ ( ) 内は2階のガス配管口径を示す。

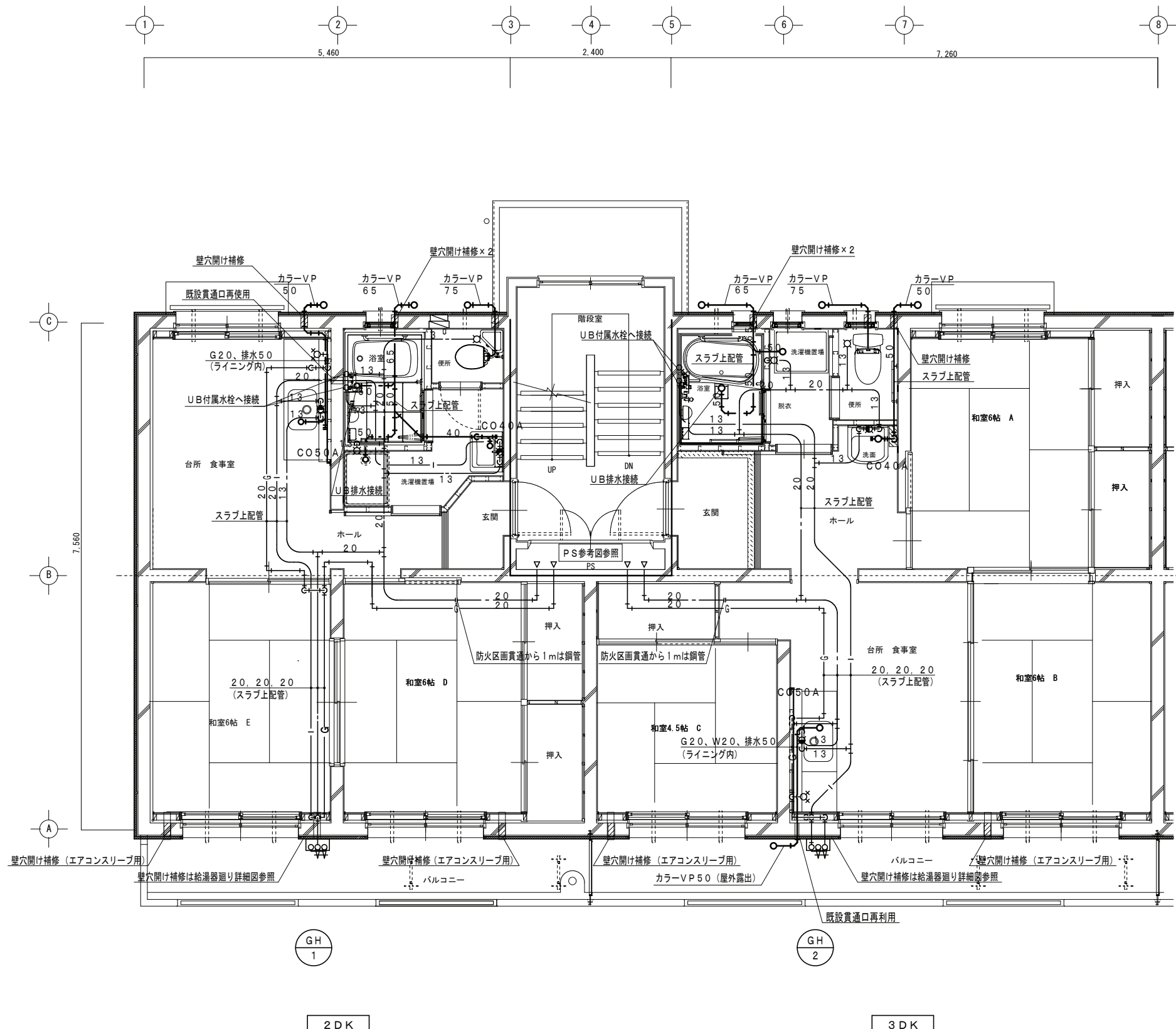


衛生設備 改修後 1階平面詳細図 S = 1 / 5 0



- 特記事項
1. 立管以降は平面図M-08参照とする。
  2. エアコン用スリーブは別途建築工事とする。

一級建築士事務所／建築設備設計事務所 <b>X.PLAN</b> Mechanical/Electrical/Plumbing	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/50 (A2)	工事名称	県営住宅外江団地第一期エコ改善工事 (58棟) (機械設備)	図面番号 M-10 / 21
		田村	板倉	米原	米原	設計年月日	2024. 11	図面名称	衛生設備 改修後 1階平面詳細図	

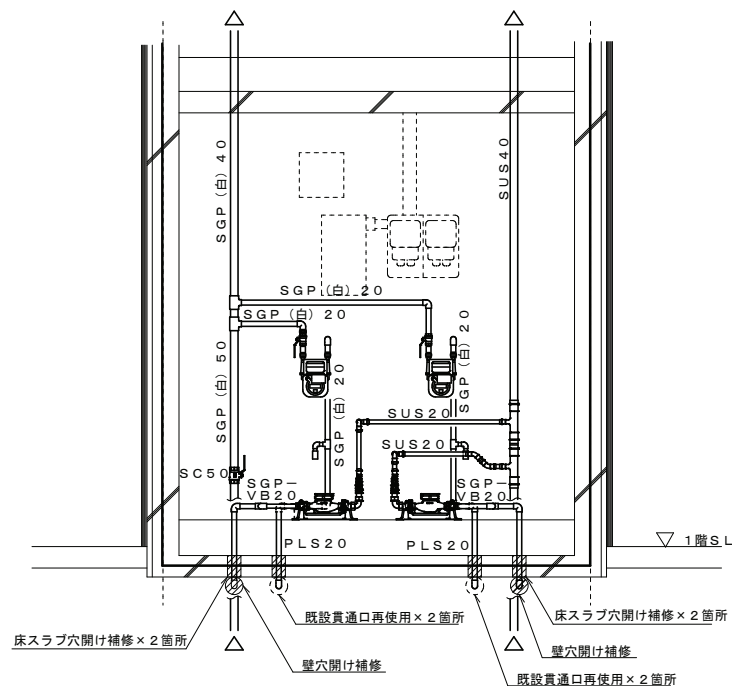


衛生設備 改修後 2~4階平面詳細図 S=1/50

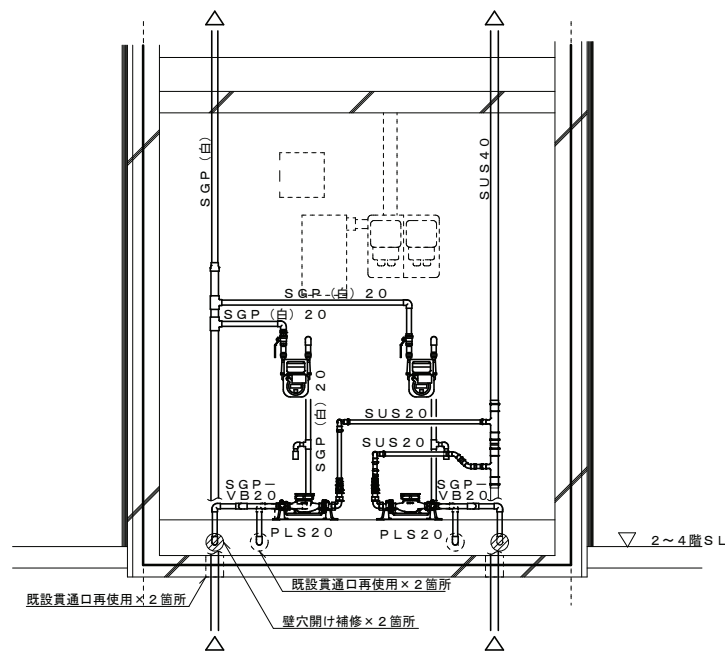


- 特記事項
- 立管以降は平面図M-09参照とする。
  - エアコン用スリーブは別途建築工事とする。

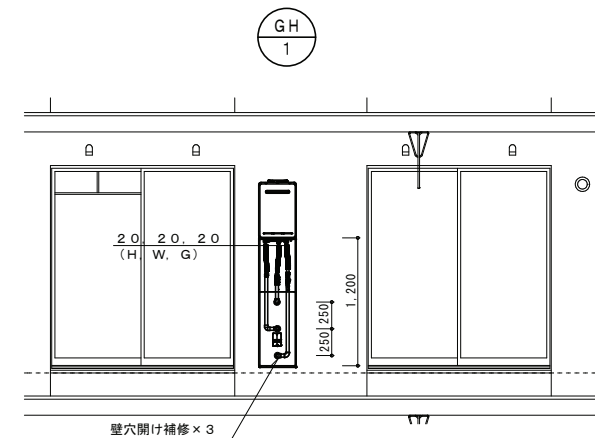
一級建築士事務所／建築設備設計事務所 <b>X.PLAN</b> Mechanical/Electrical/Plumbing	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/50 (A2)	工事名称	県営住宅外江団地第一期エコ改善工事 (58棟) (機械設備)	図面番号	M-11
		田村	板倉	米原	米原	設計年月日	2024.11	図面名称	衛生設備 改修後 2~4階平面詳細図	21	



1階断面図

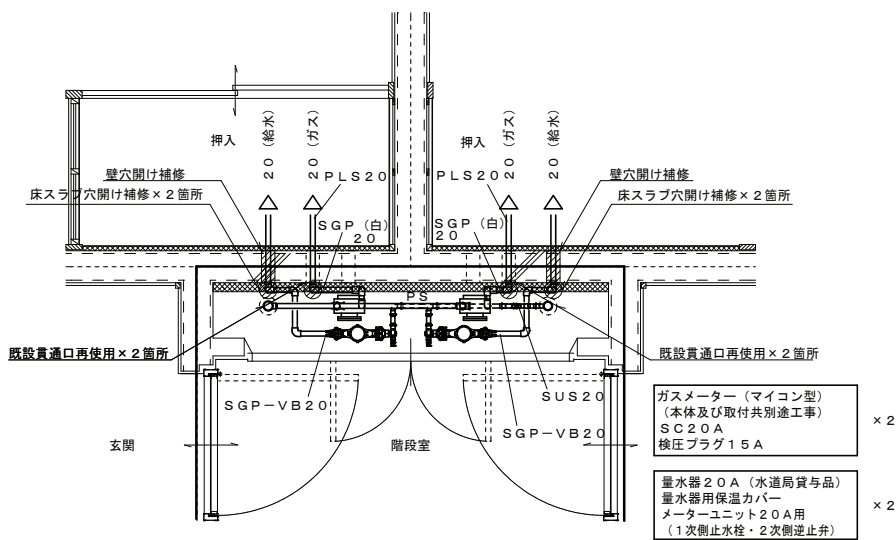


2~4階断面図

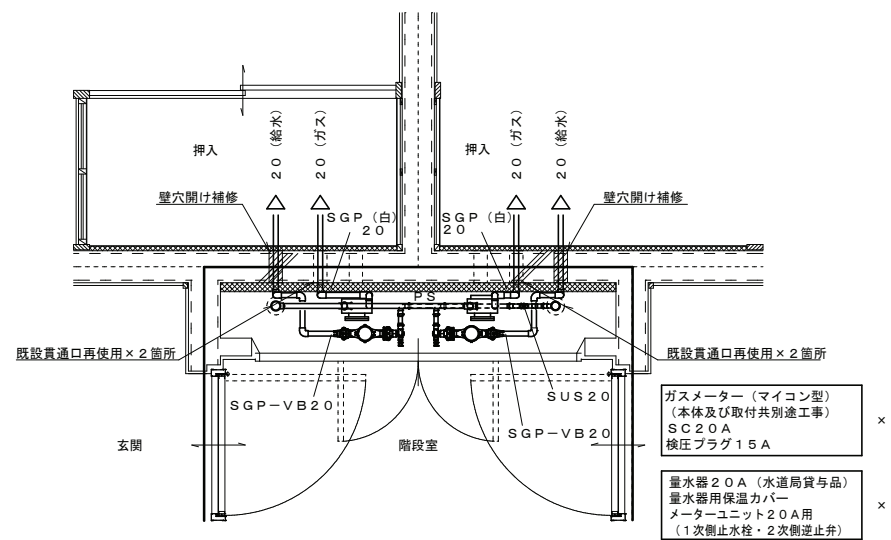


GH廻り (1台あたり)	
逆止弁付ボール弁 20A	1
FJ 20A×300L (SUS)	2
ガスコック 20A	1
金属フレキホース 20A×300L	1

2DK 給湯器廻り詳細図 (参考図) S=1/50



1階平面図

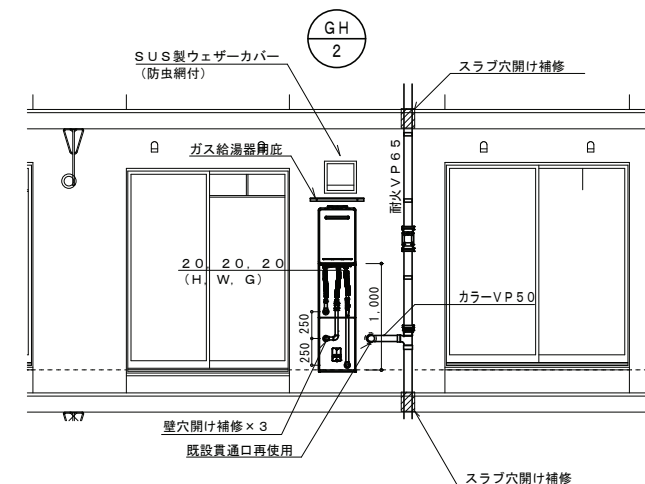


2~4階平面図

※2DK、3DK共通

PS平面詳細図 (参考図) S=1/30

※図中 — 印は、防火区画を示す。  
防火区画貫通から1mは鋼管による施工とする。  
防火区画貫通部の配管まわりはモルタルで埋めること。



GH廻り (1台あたり)	
逆止弁付ボール弁 20A	1
FJ 20A×300L (SUS)	2
ガスコック 20A	1
金属フレキホース 20A×300L	1

3DK 給湯器廻り詳細図 (参考図) S=1/50

鳥取県  
令和6年度  
J2400437  
西部環境建築局

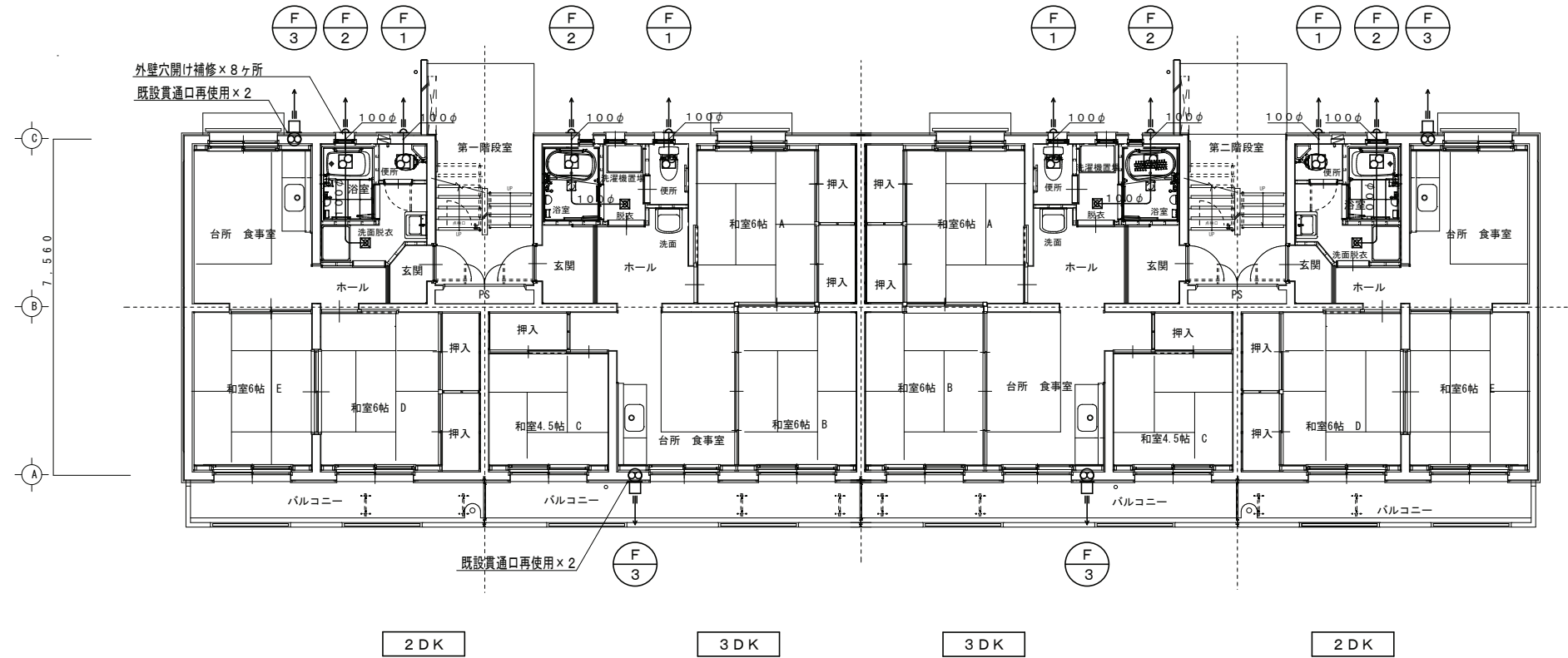
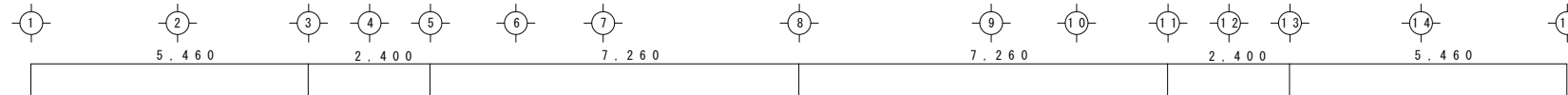
機器表						
記号	名称	仕様	数量			設置場所
			2DK	3DK	合計	
F-1	天井埋込形換気扇	低騒音形（樹脂製）（24時間系統）	8	8	16	各便所 参考品番：VD-10ZC13
		100φ×70m3/h×15Pa×1φ100V				
		風圧式シャッター付				
		天吊金具、ステンレス製深形フード（防虫網付）100φ				
F-2	天井埋込形換気扇	2室換気用低騒音形（樹脂製）	8	8	16	各UB・脱衣室 参考品番：VD-10ZFC13
		100φ×60m3/h×15Pa×1φ100V				
		副吸込グリル、風圧式シャッター付				
		天吊金具、ステンレス製深形フード（防虫網付）100φ				
F-3	壁付換気扇	金属製フィルタータイプ、電気式シャッター、引きひもなし	8	8	16	1~4階 台所兼食事室 参考品番：EX-20EMP9-F 参考品番：P-20CVS5
		20cm×300m3/h×1φ100V				
		不燃枠×2、ステンレス製ウェザーカバー（防虫網付）20cm				
		本体及び取付、穴開け貫通共：建築工事				
	給気口	本体及び取付、穴開け貫通共：建築工事				

特記事項

※深型フードは指定色耐塩害塗装とする。  
 ※ウェザーカバーは塗装なしとする。  
 ※24時間系統の換気扇のスイッチには、24時間換気シールを貼る事。

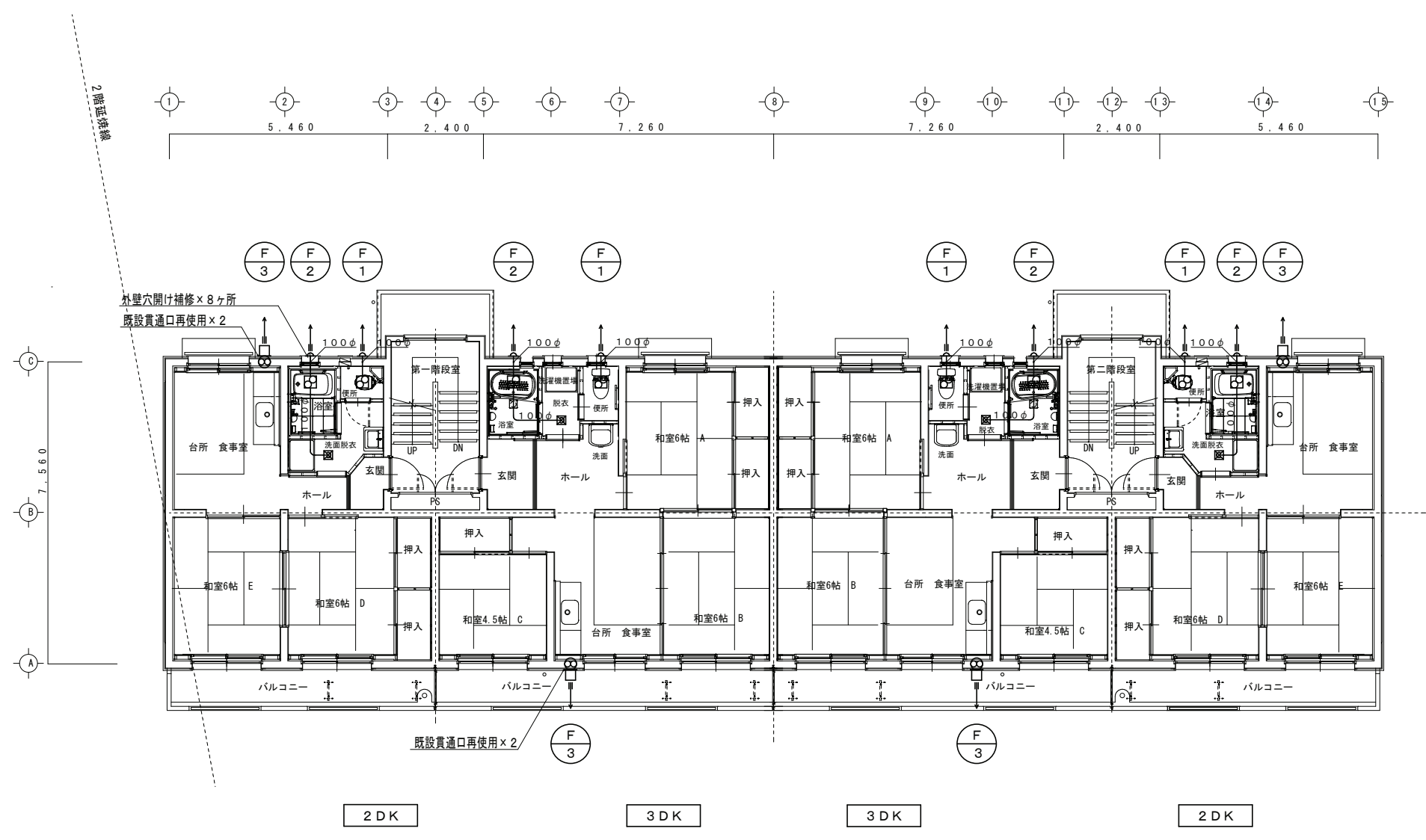
火気使用室の換気計算（LPGガス）

各戸キッチン必要換気量  
 $V = 40KQ$   
 $= 40 \times 0.93m^3 / (kW \cdot h) \times (ガスコンロ2口6.58kW)$   
 $= 244.8m^3 / h < F-3 \quad 300m^3 / h$   
 $\therefore OK$



換気設備 改修後 1階平面図 S=1/100





換気設備 改修後 2～4階平面図 S=1/100



一級建築士事務所／建築設備設計事務所 <b>X.PLAN</b> Mechanical/Electrical Engineer	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/100 (A2)	工事名称	県営住宅外江団地第一期エコ改善工事 (58棟) (機械設備)	図面番号	M-14
		田村	板倉	米原	米原	設計年月日	2024.11	図面名称	換気設備 改修後 2～4階平面図		21



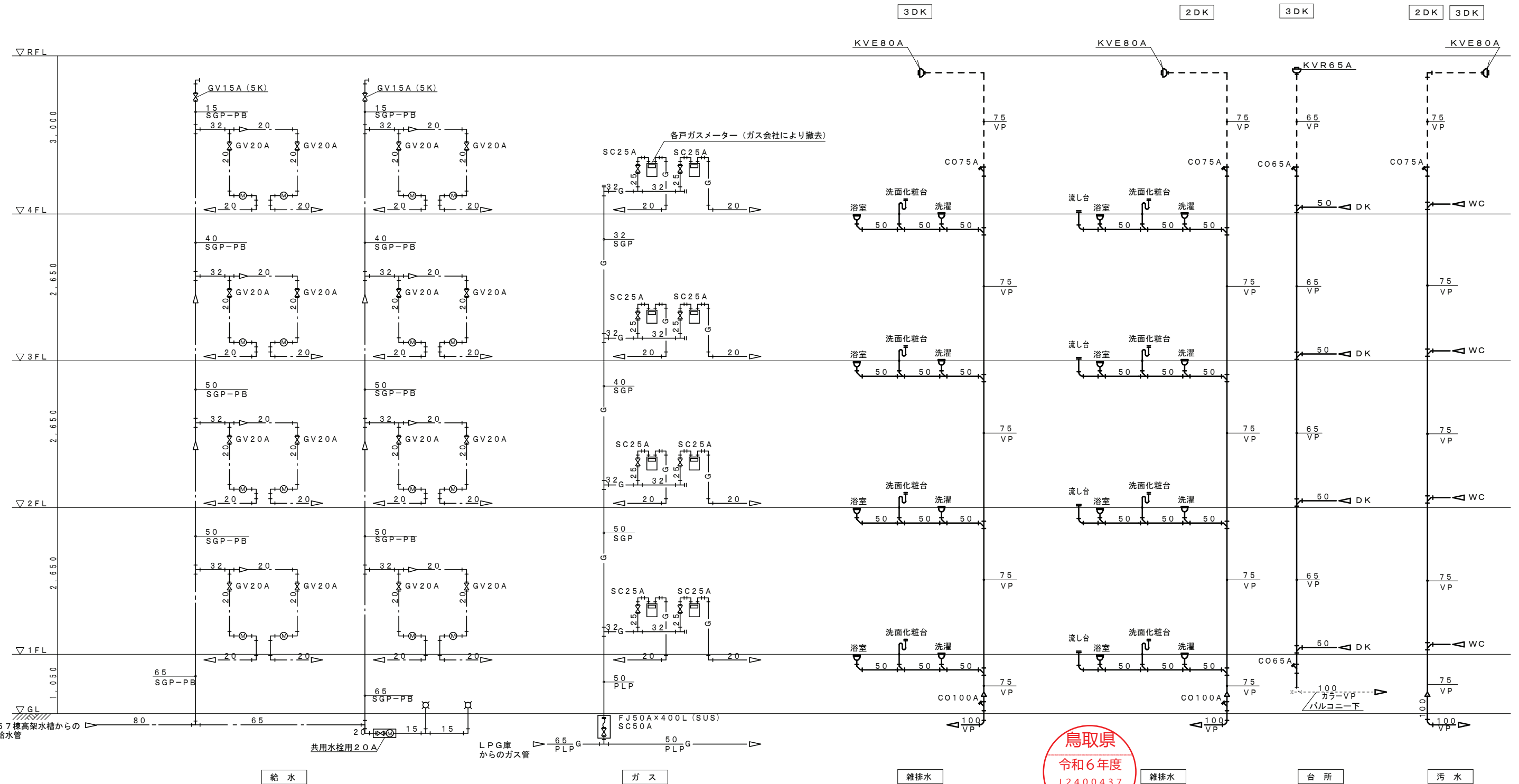
配管凡例 (撤去)		
記号	名称	備考
—	給水管	屋内一般: SGP-PB 屋外地中: SGP-PB
G	ガス管	屋内一般: SGP (白) 屋外地中: PLP
—	雨水・汚水・雑排水管	VP
---	通気管	VP

既設保温材質 ※保温材質は、現場にて調査のこと。

- |        |            |                        |
|--------|------------|------------------------|
| 1. 給水管 | 屋外露出       | ポリスチレンフォーム+SUSラッキング    |
| 2. 給水管 | PS内        | ポリスチレンフォーム+ビニールテープ巻    |
| 3. 給水管 | 木造間仕切内、床下内 | ポリスチレンフォーム+アスファルトジュート巻 |
| 4. 給水管 | ポンプ室       | グラスウール+アルミガラスクロス       |
| 5. 排水管 | 屋内露出       | ポリスチレンフォーム+綿布          |
| 6. 排水管 | 天井内        | ポリスチレンフォーム+アスファルトジュート巻 |
| 7. 通気管 | 屋内露出       | ポリスチレンフォーム+綿布          |

特記事項 (撤去共通)

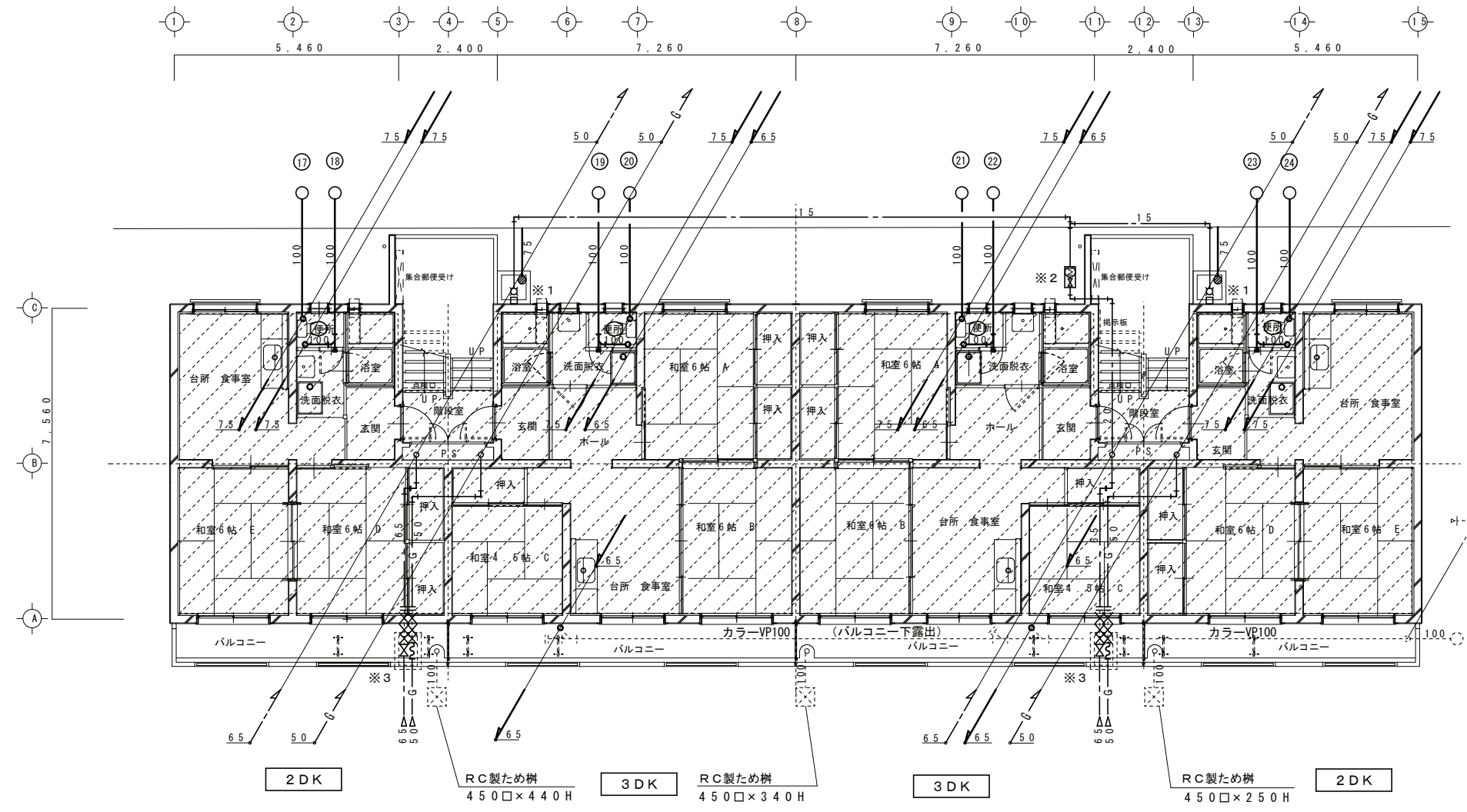
- ※図中太線実線部の機械設備機器及び配管等を撤去する。
- 但し撤去配管の内、地中埋設・壁埋設等で撤去困難な配管は監督員と協議すること。
- ※配管・ダクト撤去後、配管・ダクト貫通口はモルタル補修を行うこと。
- ※図中既設各管の口径・ルート等は、再度既設設備を調査して施工すること。
- ※施工に必要な内外部の足場(脚立足場程度を除く)は、原則として別途建築工事の足場を利用すること。
- ※天井ボード撤去・復旧、壁床の改修及び防水補修は全て別途建築工事とする。
- ※撤去機器・配管等は、法令を遵守し適切に撤去・処分を行うこと。
- ※既設建物を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵に十分配慮し、必要に応じて仮設を行い、既設設備を十分調査して施工すること。
- ※各配管フランジパッキンにはアスベスト含有の恐れがあるため3検体分析を行い、監督員に報告すること。
- 尚、含有されていた場合の撤去・処分費用については、監督員と協議すること。
- 3検体採取箇所: 給水管 (バルブBOX内)、排水管 (立管)、LPG管 (フレキBOX内)



衛生設備 既設 配管系統図

既設樹リスト (撤去)

記号	名称	仕様	蓋仕様	管底(H)	地盤高さ	備考
17	塩ビ製小口径樹	100-200 90L	防護蓋 T8	900	+ 40	
18	"	" 90Y	"	920	+ 40	
19	"	" 90Y	"	1010	+ 50	
20	"	" 90Y	"	1030	+ 50	
21	"	" 90Y	"	1130	+ 50	
22	"	" 90Y	"	1150	+ 50	
23	"	" 90Y	"	1230	+ 50	
24	"	125-200 90Y	"	1250	+ 50	

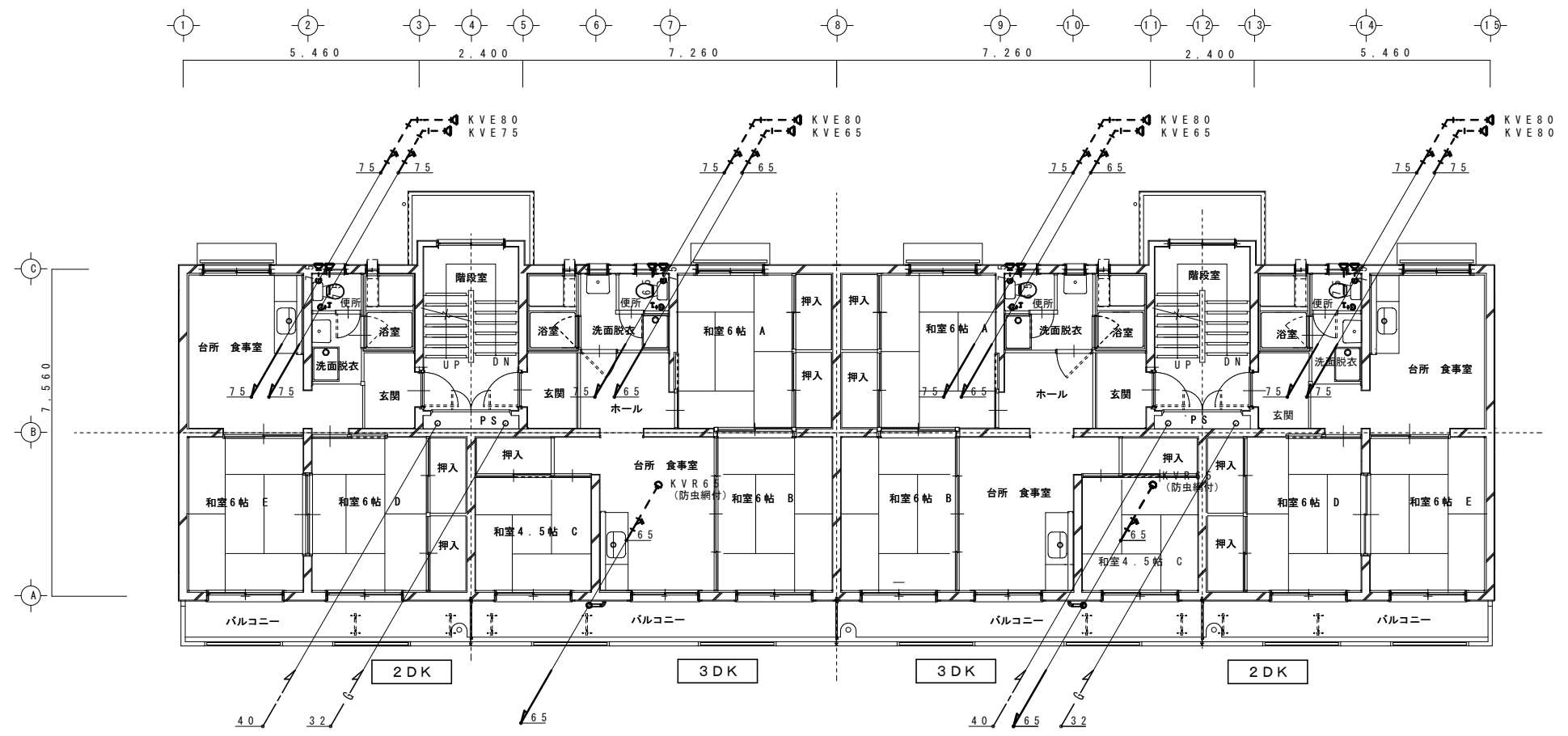


- ※1  
足洗い場  
水栓柱(塩ビ製) 13A×900L  
万能ホーム水栓(キー式) 13A  
排水目皿80A  
撤去×2
- ※2  
量水器20A(水道局返納)  
量水器ボックス  
止水栓20A  
撤去
- ※3  
GV65A(JIS5K) 1 撤去×2  
BAV50A, FJ50A×500L(SUS) 1  
FJボックス(RC樹)、綿銅板蓋3.2t共  
600×900×1000H 1 残置×2  
※FJボックス内には砂充填すること。

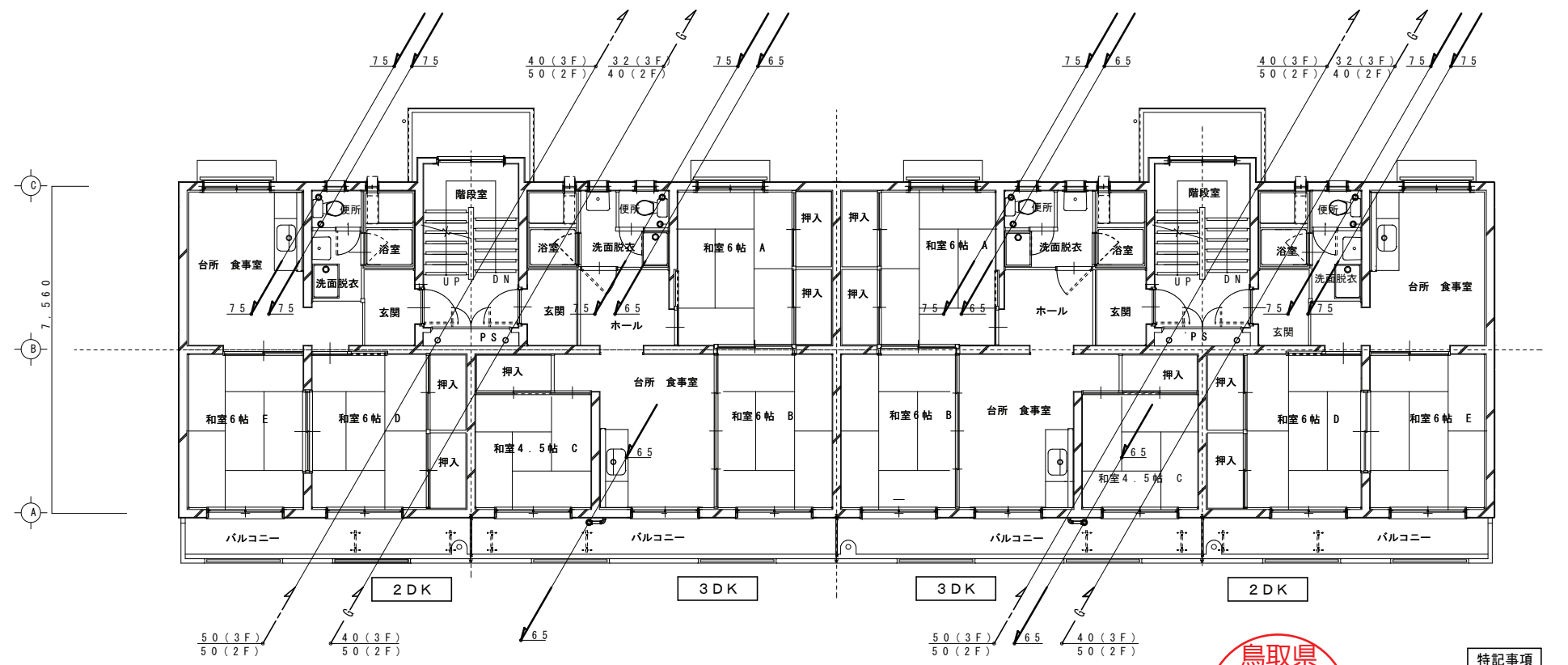
衛生設備 撤去 1階平面図 S=1/100



特記事項  
※図中太線実線部の配管を撤去する。  
但し撤去配管の内、壁埋設等で撤去不可能な配管は監督員と協議すること。



衛生設備 撤去 4階平面図 S=1/100



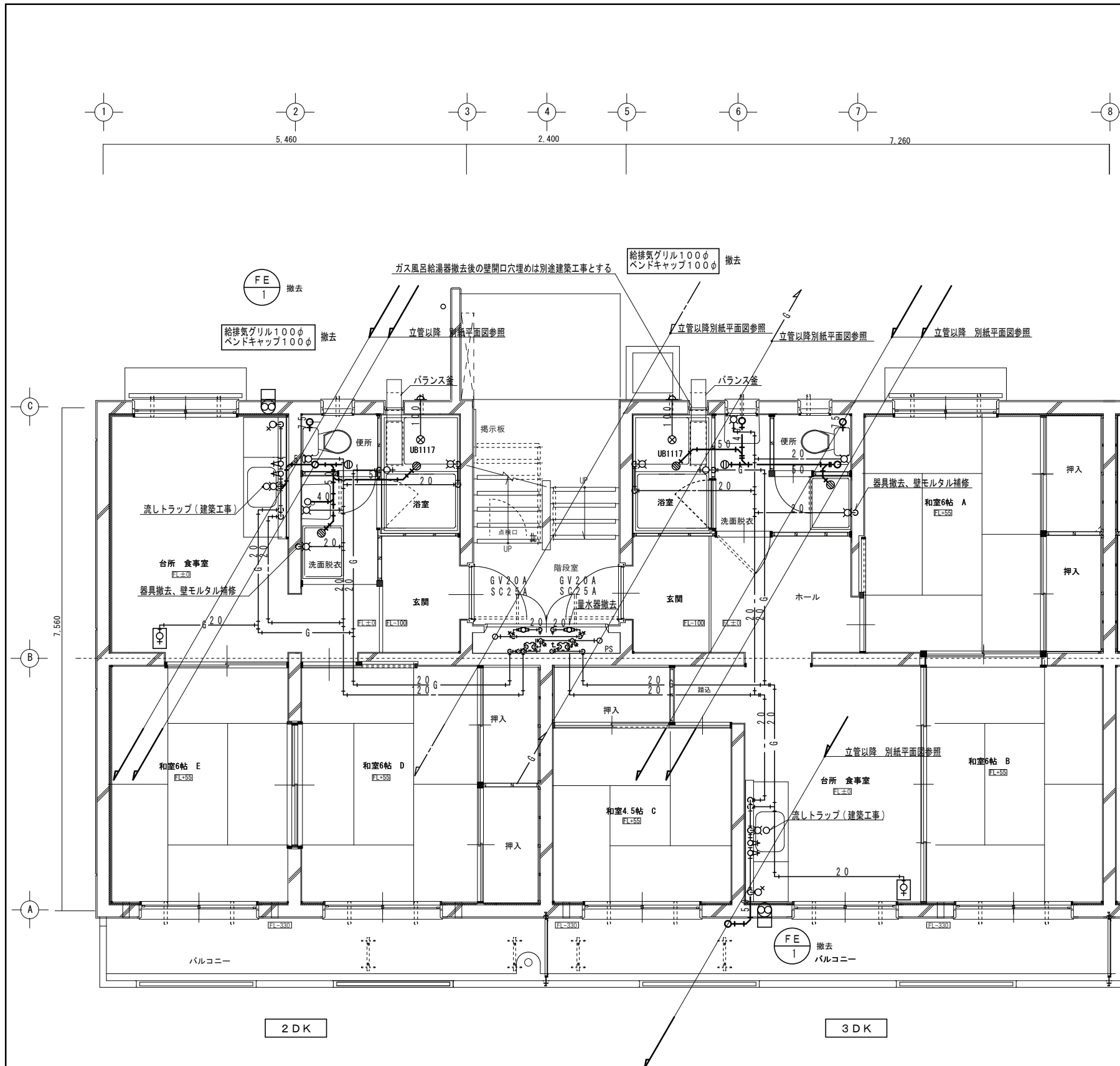
衛生設備 撤去 2、3階平面図 S=1/100



特記事項

※図中太線実線部の配管を撤去する。  
但し撤去配管の内、壁埋設等で撤去不可能な配管は監督員と協議すること。

一級建築士事務所／建築設備設計事務所 <b>X.PLAN</b> Mechanical/Electrical Engineer	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/100 (A2)	工事名称	県営住宅外江団地第一期エコ改善工事 (58棟) (機械設備)	図面番号 M-18 / 21
		田村	板倉	米原	米原	設計年月日	2024.11	図面名称	衛生設備 撤去 2～4階平面図	



衛生・換気設備 撤去 1階平面詳細図 S=1/50

撤去器具表

名称	参考品番	仕様	設置場所	数量		
				2DK	3DK	合計
洋風大便器		手洗付、壁排水用	便所	8	8	16
洗面化粧台		500×400、BL指定品、ストラップ、ストレート止水栓	ホール	8	8	16
洗濯機用水栓	T-30AR	13A	ホール	8	8	16
洗濯機パン	PW20N	800タイプ、排水トラップ(JT-3 50A)共	ホール	8	8	16
自在水栓	T-30AR	13A	浴室	8	8	16
泡末自在水栓	T-136S	13A	DK	8	8	16
ガスコック	単口	15A、可とう管コック(アングル型)	浴室	8	8	16
ヒューズコック	単口	15A×10A、ホースコック	DK	8	8	16
"	単口	15A×10A、コンセントコック	DK	8	8	16
床埋込ガスコック	単口	15A×10A、床ボックス用	DK	8	8	16
バランス釜	GBS-3E	8.5号、BF式、LPGガス用	浴室	8	8	16
仕切弁		20A、Jis5K	PS	8	8	16
量水器		20A、デジタル式(※管理委託者に返却)	PS	(8)	(8)	(16)
ガスメーター		貸与品(※ガス会社により撤去)	PS	(8)	(8)	(16)
サービスコック		25A	PS	8	8	16

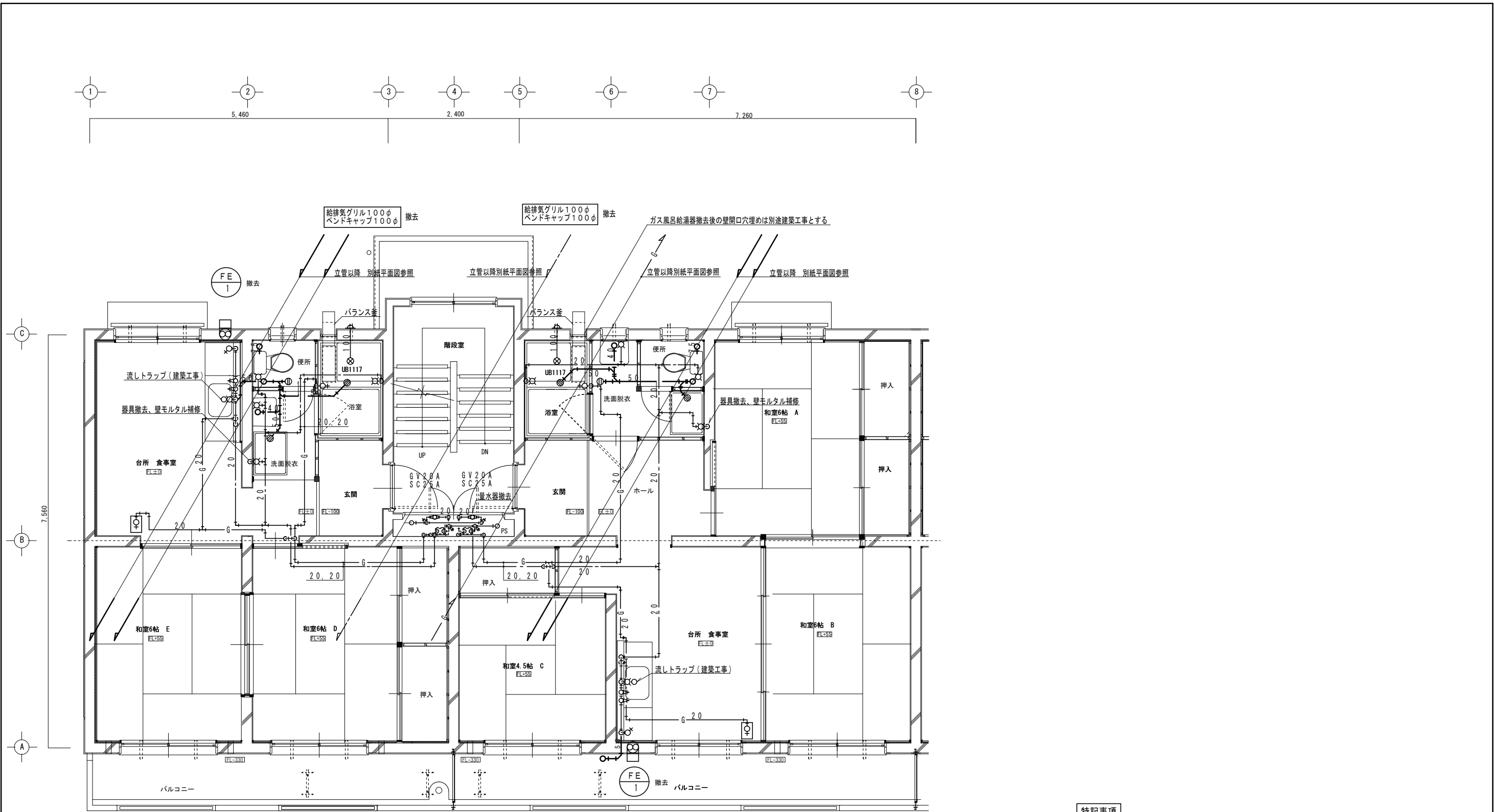
撤去換気機器表

記号	仕様	電気容量		設置場所	数量		
		φ	V		2DK	3DK	合計
FE-1	形式	壁付換気扇	20cm	DK	8	8	16
	付属品	木枠、ウェザーカバー	20cm共				

特記事項

- ※1階は給水管、ガス管、排水管ともピット内配管を示す。
- ※図中太線実線部の機械設備機器及び配管等を撤去する。但し撤去配管の内、地中埋設・壁埋設等で撤去不可能な配管は監督員と協議すること。
- ※浴槽、流し台(ユニット付属配管等共)の撤去は、別途建築工事とする。
- ※流し台に給湯器、洋便にウォームレット等が設置されている部屋は、返却又は撤去すること。
- ※配管撤去後、配管貫通口はモルタル穴埋め補修を行うこと。
- ※吊りボルト撤去部はシール等にて仕上げ補修を行うこと。
- ※便所汚水管エルボ部分保温材には、アスベスト含有無しを見込んでいますが、現場で調査すること。分析が必要な場合は別途協議とする。
- ※1階PS内の立管撤去到に伴う床スラブコンクリートはつり復旧については別途建築工事とする。





衛生・換気設備 撤去 2～4階平面詳細図 S=1/50

特記事項

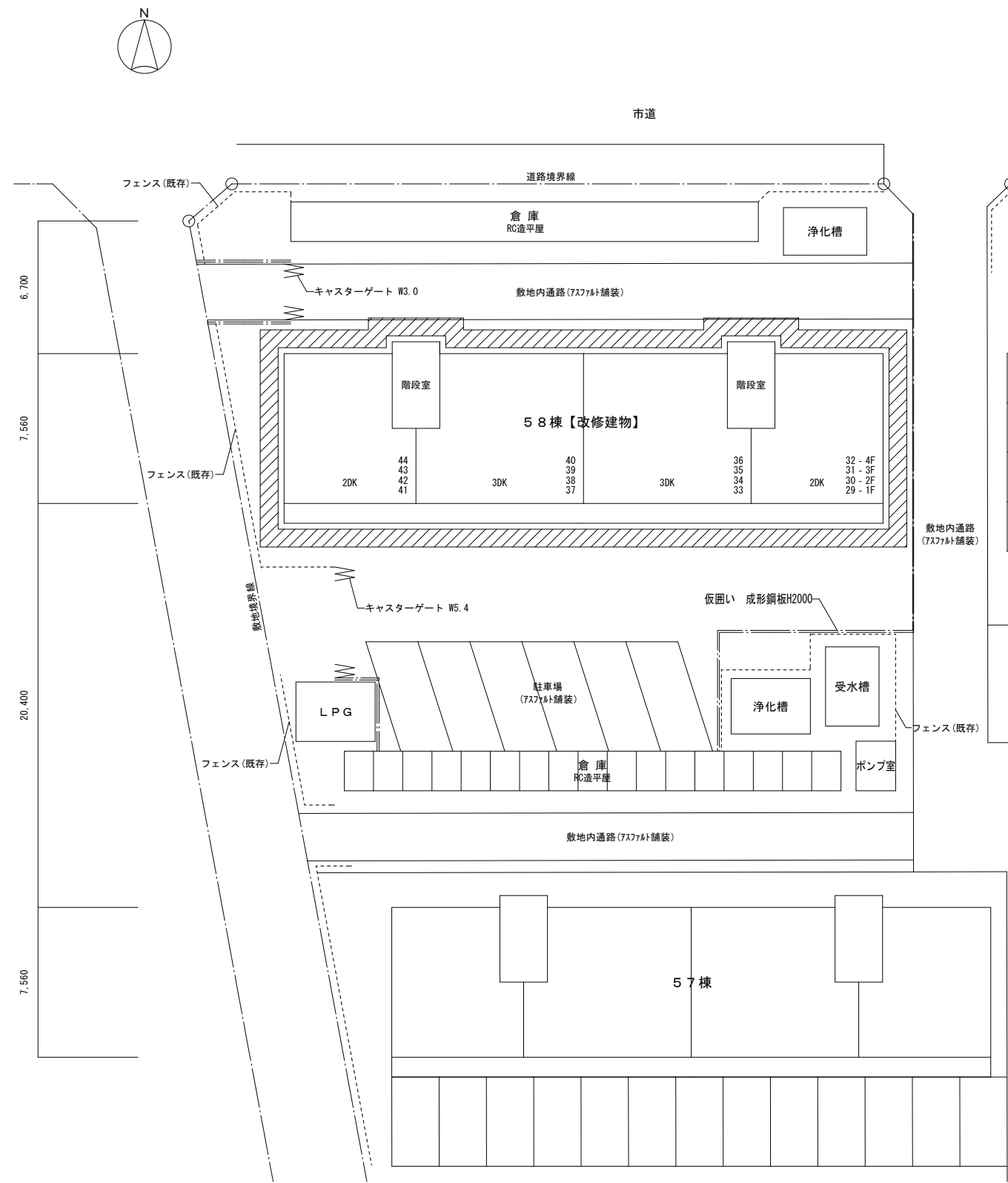
- ※2～4階は、給水管・ガス管は床スラブ上配管、排水管は下階天井内配管を示す。
- ※図中太線実線部の機械設備機器及び配管等を撤去する。
- 但し撤去配管の内、地中埋設・壁埋設等で撤去不可能な配管は監督員と協議すること。
- ※浴槽、流し台（ユニット付属配管等共）の撤去は、別途建築工事とする。
- ※流し台に給湯器、洋便にウォームレット等が設置されている部屋は、返却又は撤去すること。
- ※配管撤去後、配管貫通口はモルタル穴埋め補修を行うこと。
- ※吊りボルト撤去部はシール等にて仕上げ補修を行うこと。
- ※便所汚水管エルボ部分保温材には、アスベスト含有無しを見込んでいるが、現場で調査すること。
- 分析が必要な場合は別途協議とする。
- ※2～4階PS内の立管撤去に伴う床スラブコンクリートはつり復旧については本工事とする。



一級建築士事務所／建築設備設計事務所 <b>X.PLAN</b> 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/50 (A2)	工事名称	県営住宅外江団地第一期エコ改善工事（58棟）（機械設備）	図面番号	M-20
	田村	板倉	米原	米原	設計年月日	2024.11	図面名称	衛生・換気設備 撤去 2～4階平面詳細図		21

想定概略工程表(案) 休工日:土・日・祝

工事名	業務内容	県営住宅外江団地第一期エコ改善工事(58棟)																													
		1ヶ月			2ヶ月			3ヶ月			4ヶ月			5ヶ月			6ヶ月			7ヶ月			8ヶ月			9ヶ月					
		月	日	日	月	日	日	月	日	日	月	日	日	月	日	日	月	日	日	月	日	日	月	日	日	月	日	日	月	日	日
建築工事	準備期間	準備工事 事前調査																													
	仮設工事	仮囲い設置 足場補正																		足場撤去 仮囲い撤去 清掃											
	外壁改修工事				外壁調査 高圧洗浄 劣化補修			外新設改修									塗装改修			金物等取付											
	外部建具改修工事	工場製作			既存建具撤去			建具改修												内窓取付											
	防水改修							屋上防水改修																							
	内部改修工事				床・既存明仕切り・仕上げ撤去			内装改修												クリーニング											
	外構工事				足洗機設置																										
機械設備工事	準備期間	事前調査・準備			アスベスト採取及び分析調査 高圧水噴下がり給水管切り離し			エアコン取外し									エアコン復旧・受水槽水量調整														
	屋外配管工事	給水引込及び給水・排水・ガス埋設管更新 ※57棟へのガス供給停止期間厳禁						増圧ポンプ用基礎及び機器取付												足場部分の各種設置更新 調整復旧											
	屋内配管工事	器具・配管撤去						給水・排水・給湯・ガス管新設									器具取付			調整											
	PS工事	配管撤去			調査・コア抜			PS立管・メーター廻り給水・ガス管新設																							
	ダクト工事	機器撤去			調査・コア抜			機器取付・ダクト新設																							
	外壁支持排水配管工事							北面立管新設			南面立管新設																				
	電気設備工事	準備期間	事前調査・準備																												
外部改修工事	器具・配管撤去																		光機器取付調整												
幹線設備工事	引込開閉器撤去																		引込開閉器撤去・調整												
内部改修工事	器具・配管撤去						器具・配管撤去新設															試験調整									
テレビ更新工事							アンテナ取外し															支線等改修									



1:工事範囲内外の境界部分については、十分に養生を行い工事範囲外に影響を及ぼさないよう努める。  
特に資材搬入時等交通、住民通行の障害を生じぬ様留意すること。

2:現場事務所は監督員と位置を協議の上、設置する。

3:資材置場は施工中駐車が困難となる駐車スペースを活用する。

4:内部既存仕上の養生は特記による。

	仮囲い 成形鋼板H2.0M
	キャスターゲート
	枠組足場W900(手摺先行)

仮設計画配置図(案) S: 1/200

